

土木工事標準積算基準書（土木工事編）〔Ⅱ〕 新旧対照表

※1 主な改定部分を掲載しています。

※2 本表は、県のホームページに掲載しています。

(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m2t/cnt/f4317/p12743.html>)

令和6年7月1日

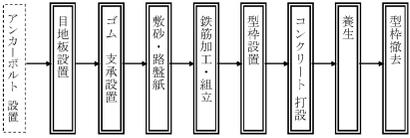
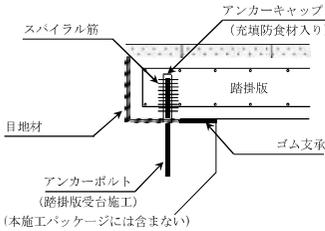
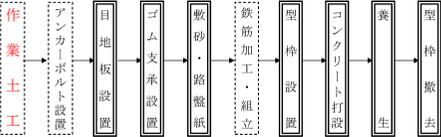
神奈川県 県土整備局

第IV編 道路

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																																																		
	現 行	改 正																																																																																																																																			
	<p style="text-align: center;">表3.3 瀝青材料の規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">瀝青材料の規格</td> <td>タックコート PKR (ゴム入り)</td> </tr> <tr> <td>タックコート (各種)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 ボーラスアコン (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">2.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 ボーラスアコン (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18</td> <td>導水パイプの設置有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-1-③-3</p>	積算条件	区分	瀝青材料の規格	タックコート PKR (ゴム入り)	タックコート (各種)	無し	平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 ボーラスアコン (13)		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 軽油 バトルール給油		市場単価	S -		2.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料	K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	労務	R1 普通作業員		R2 運転手 (特殊)		R3 特殊作業員		R4 土木一般世話役		材料	Z1 ボーラスアコン (13)		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3 軽油 バトルール給油		Z4 導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合	市場単価	S -		<p>現行どおり</p>	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 ボーラスアコン (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">2.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 運転質量 13~14t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 ロードローラ [マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 ボーラスアコン (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り</td> <td>瀝青材散布有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18</td> <td>導水パイプの設置有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>	平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 ボーラスアコン (13)		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 軽油 バトルール給油		市場単価	S -		2.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料	K2 タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 運転質量 13~14t	賃料	K3 ロードローラ [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料	労務	R1 普通作業員		R2 運転手 (特殊)		R3 特殊作業員		R4 土木一般世話役		材料	Z1 ボーラスアコン (13)		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合	Z3 軽油 バトルール給油		Z4 導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合	市場単価	S -	
積算条件	区分																																																																																																																																				
瀝青材料の規格	タックコート PKR (ゴム入り)																																																																																																																																				
	タックコート (各種)																																																																																																																																				
	無し																																																																																																																																				
平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																		
1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																			
		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																			
		K3 -																																																																																																																																			
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																			
		R2 普通作業員																																																																																																																																			
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																			
		R4 -																																																																																																																																			
	材料	Z1 ボーラスアコン (13)																																																																																																																																			
		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																		
		Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																			
		Z4 軽油 バトルール給油																																																																																																																																			
	市場単価	S -																																																																																																																																			
2.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																																																																																																		
		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (2011年規制)] 運転質量 13t	賃料																																																																																																																																		
		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																																																																																																		
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																			
		R2 運転手 (特殊)																																																																																																																																			
		R3 特殊作業員																																																																																																																																			
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																			
	材料	Z1 ボーラスアコン (13)																																																																																																																																			
		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																		
		Z3 軽油 バトルール給油																																																																																																																																			
		Z4 導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合																																																																																																																																		
	市場単価	S -																																																																																																																																			
平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																		
1.4m 未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t																																																																																																																																			
		K2 振動コンパクタ [前進型] 機械質量 40~60kg																																																																																																																																			
		K3 -																																																																																																																																			
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																			
		R2 普通作業員																																																																																																																																			
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																			
		R4 -																																																																																																																																			
	材料	Z1 ボーラスアコン (13)																																																																																																																																			
		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																		
		Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																			
		Z4 軽油 バトルール給油																																																																																																																																			
	市場単価	S -																																																																																																																																			
2.4m 以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 舗装幅 2.3~6.0m	賃料																																																																																																																																		
		K2 タイヤローラ [普通型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (2014年規制)] 運転質量 13~14t	賃料																																																																																																																																		
		K3 ロードローラ [マカダム・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 運転質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料																																																																																																																																		
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																			
		R2 運転手 (特殊)																																																																																																																																			
		R3 特殊作業員																																																																																																																																			
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																			
	材料	Z1 ボーラスアコン (13)																																																																																																																																			
		Z2 アスファルト乳剤 PKR ゴム入り	瀝青材散布有りの場合																																																																																																																																		
		Z3 軽油 バトルール給油																																																																																																																																			
		Z4 導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合																																																																																																																																		
	市場単価	S -																																																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																											
<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 素地調整工(4種)100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB410730</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>掃 り よ う 塗 装 工</td> <td></td> <td>人</td> <td>4×100/D</td> <td>表3.1, 表3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(2) 接着剤塗布工100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB410740</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4×100/D</td> <td>表4.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>接 着 剤</td> <td>瀝青ゴム系接着剤</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(3) 舗設工100㎡当り単価表</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB410720</td> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表5.2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>9×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>グースアスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>式5.1</td> </tr> <tr> <td>目 地 材</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>プ レ コ ー ト 砕 石</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>グースアスファルトフィニッシャ運 転</td> <td>舗装幅 2.5~4.5m</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表5.1, 表5.3 機械損料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>グースアスファルトフィニッシャ</td> <td>舗装幅 2.5~4.5m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 60 機械損料数量 → 1.56</td> </tr> </table>				施工歩掛コード	WB410730	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	掃 り よ う 塗 装 工		人	4×100/D	表3.1, 表3.2	諸 雑 費		式	1	表3.3	計							施工歩掛コード	WB410740	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人	4×100/D	表4.1, 表4.2	接 着 剤	瀝青ゴム系接着剤	ℓ		表4.3	諸 雑 費		式	1	表4.4	計							施工歩掛コード	WB410720	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表5.2, 表5.3	特 殊 作 業 員		〃	5×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	9×100/D	〃	グースアスファルト混合物		t		式5.1	目 地 材		m		必要量計上	プ レ コ ー ト 砕 石		kg		〃	グースアスファルトフィニッシャ運 転	舗装幅 2.5~4.5m	日	1×100/D	表5.1, 表5.3 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	グースアスファルトフィニッシャ	舗装幅 2.5~4.5m	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 60 機械損料数量 → 1.56	<p>現行どおり</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> <tr> <td>グースアスファルトフィニッシャ</td> <td>舗装幅 2.5~4.5m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 60 機械損料数量 → 1.58</td> </tr> </table> <p>記載の変更</p>	機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	グースアスファルトフィニッシャ	舗装幅 2.5~4.5m	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 60 機械損料数量 → 1.58	
		施工歩掛コード	WB410730																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																										
掃 り よ う 塗 装 工		人	4×100/D	表3.1, 表3.2																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.3																																																																																																																										
計																																																																																																																														
		施工歩掛コード	WB410740																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	4×100/D	表4.1, 表4.2																																																																																																																										
接 着 剤	瀝青ゴム系接着剤	ℓ		表4.3																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																																																										
計																																																																																																																														
		施工歩掛コード	WB410720																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	表5.2, 表5.3																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	5×100/D	〃																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	9×100/D	〃																																																																																																																										
グースアスファルト混合物		t		式5.1																																																																																																																										
目 地 材		m		必要量計上																																																																																																																										
プ レ コ ー ト 砕 石		kg		〃																																																																																																																										
グースアスファルトフィニッシャ運 転	舗装幅 2.5~4.5m	日	1×100/D	表5.1, 表5.3 機械損料																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																																										
計																																																																																																																														
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																											
グースアスファルトフィニッシャ	舗装幅 2.5~4.5m	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 60 機械損料数量 → 1.56																																																																																																																											
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																											
グースアスファルトフィニッシャ	舗装幅 2.5~4.5m	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 60 機械損料数量 → 1.58																																																																																																																											
積算上の注意事項	IV-1-①-4		(控え頁) 1/1																																																																																																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																																																																																																																																																																									
	現 行	改 正																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 連続鉄筋コンクリート舗装工100㎡当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th colspan="4">施工歩掛コード</th> </tr> <tr> <th>WB10860</th> <th>WB10870</th> <th>WB10880</th> <th>WB10890</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉄筋工</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>左 官</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コンクリート</td><td></td><td>㎡</td><td></td><td>式3.1</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>石粉又は置き材</td><td></td><td>kg, 0</td><td></td><td>必要に応じて計上</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>鉄 筋</td><td>S8345 D16~D25</td><td>t</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>〃</td><td>S8345 D13</td><td>〃</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>〃</td><td>S8345 D10</td><td>〃</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>スパーサー</td><td></td><td>個</td><td></td><td>表3.4</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>縦目地</td><td>(膨張)(取揃)</td><td>〃</td><td></td><td>目地材・タイバー・チェア等を含む</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>横目地</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>必要に応じて計上</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>縦自由織部</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>目地材・目地板等を含む</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>スリップフォームパーバ運転</td><td>[コンクリート舗装用] 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm</td><td>日</td><td></td><td>表3.1,表3.2 機械損料</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 目地切り・清掃 100m 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> <th colspan="2">施工歩掛コード</th> </tr> <tr> <th>WB10880</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>特殊作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>〃</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>コンクリートカッタ運転</td><td>乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm</td><td>日</td><td></td><td>表4.1,表4.2 機械損料</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表4.2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <p>1) 連続鉄筋コンクリート舗装工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スリップフォームパーバ</td> <td>コンクリート舗装用 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.57</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 目地切り・清掃</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートカッタ</td> <td>乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 25 機械損料数量 → 1.30</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-1-⑤-12</p>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	施工歩掛コード				WB10860	WB10870	WB10880	WB10890	土木一般世話役		人		表3.2	○				特殊作業員		人		〃	○				普通作業員		人		〃	○				鉄筋工		人		〃	○				左 官		人		〃	○				コンクリート		㎡		式3.1			○		石粉又は置き材		kg, 0		必要に応じて計上			○		鉄 筋	S8345 D16~D25	t					○		〃	S8345 D13	〃					○		〃	S8345 D10	〃					○		スパーサー		個		表3.4			○		縦目地	(膨張)(取揃)	〃		目地材・タイバー・チェア等を含む			○		横目地		〃		必要に応じて計上				○	縦自由織部		〃		目地材・目地板等を含む			○		スリップフォームパーバ運転	[コンクリート舗装用] 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm	日		表3.1,表3.2 機械損料	○				諸 雑 費		式	1	表3.2	○				計									名 称	規 格	単位	数量	摘 要	施工歩掛コード		WB10880		土木一般世話役		人		表4.2			特殊作業員		人		〃			普通作業員		人		〃			コンクリートカッタ運転	乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm	日		表4.1,表4.2 機械損料			諸 雑 費		式	1	表4.2			計							機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	スリップフォームパーバ	コンクリート舗装用 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.57	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートカッタ	乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm	機-24	燃料消費量 → 25 機械損料数量 → 1.30	<p>現行どおり</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <p>1) 連続鉄筋コンクリート舗装工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スリップフォームパーバ</td> <td>コンクリート舗装用 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.59</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 目地切り・清掃</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートカッタ</td> <td>乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 25 機械損料数量 → 1.31</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	スリップフォームパーバ	コンクリート舗装用 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.59	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートカッタ	乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm	機-24	燃料消費量 → 25 機械損料数量 → 1.31	<p>記載の変更</p>
名 称	規 格						単位	数量	摘 要	施工歩掛コード																																																																																																																																																																																																																																																		
		WB10860	WB10870	WB10880	WB10890																																																																																																																																																																																																																																																							
土木一般世話役		人		表3.2	○																																																																																																																																																																																																																																																							
特殊作業員		人		〃	○																																																																																																																																																																																																																																																							
普通作業員		人		〃	○																																																																																																																																																																																																																																																							
鉄筋工		人		〃	○																																																																																																																																																																																																																																																							
左 官		人		〃	○																																																																																																																																																																																																																																																							
コンクリート		㎡		式3.1			○																																																																																																																																																																																																																																																					
石粉又は置き材		kg, 0		必要に応じて計上			○																																																																																																																																																																																																																																																					
鉄 筋	S8345 D16~D25	t					○																																																																																																																																																																																																																																																					
〃	S8345 D13	〃					○																																																																																																																																																																																																																																																					
〃	S8345 D10	〃					○																																																																																																																																																																																																																																																					
スパーサー		個		表3.4			○																																																																																																																																																																																																																																																					
縦目地	(膨張)(取揃)	〃		目地材・タイバー・チェア等を含む			○																																																																																																																																																																																																																																																					
横目地		〃		必要に応じて計上				○																																																																																																																																																																																																																																																				
縦自由織部		〃		目地材・目地板等を含む			○																																																																																																																																																																																																																																																					
スリップフォームパーバ運転	[コンクリート舗装用] 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm	日		表3.1,表3.2 機械損料	○																																																																																																																																																																																																																																																							
諸 雑 費		式	1	表3.2	○																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単位	数量	摘 要	施工歩掛コード																																																																																																																																																																																																																																																							
					WB10880																																																																																																																																																																																																																																																							
土木一般世話役		人		表4.2																																																																																																																																																																																																																																																								
特殊作業員		人		〃																																																																																																																																																																																																																																																								
普通作業員		人		〃																																																																																																																																																																																																																																																								
コンクリートカッタ運転	乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm	日		表4.1,表4.2 機械損料																																																																																																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表4.2																																																																																																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																									
スリップフォームパーバ	コンクリート舗装用 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.57																																																																																																																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートカッタ	乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm	機-24	燃料消費量 → 25 機械損料数量 → 1.30																																																																																																																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																									
スリップフォームパーバ	コンクリート舗装用 最大舗装幅6m 最大舗装厚30cm	機-18	運転労務数量 → 1.00 燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.59																																																																																																																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートカッタ	乾式・切削深20cm級 ブレード径φ44~56cm	機-24	燃料消費量 → 25 機械損料数量 → 1.31																																																																																																																																																																																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																																																																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考
	現 行	改 正	
	<p>⑥ 踏掛版</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、踏掛版工における踏掛版に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現場打ちの踏掛版の設置 (2) 厚さ0.35m以上0.60m以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) プレキャスト踏掛版の設置 (2) 主たる鉄筋が太径鉄筋 (D38以上D51以下) の場合</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 縦目地、横目地、養生の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p>  <p style="text-align: center;">踏掛版受台側面図(参考図) IV-1-⑥-1</p>	<p>⑥ 踏掛版設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、踏掛版工における踏掛版の設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現場打ちの踏掛版の設置 (2) 厚さ0.35m以上0.400.60m以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) プレキャスト踏掛版の設置 (2) 主たる鉄筋が太径鉄筋 (D38以上D51以下) の場合</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. ゴム支承、縦目地、横目地、養生の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p>	<p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
積算上の注意事項		現行どおり	(控え頁) 1/6

改正理由	一部改正		改正		備考																																																																																																																																													
	現	行	改	正																																																																																																																																														
3. 施工パッケージ 3-1 踏掛版 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。	<p style="text-align: center;">表3.1 踏掛版 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: right;">(積算単位：m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>ゴム支承の有無</th> <th>鉄筋材料規格・径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">(表3.2)</td><td rowspan="2">0.08t/m3以上0.10t/m3未満</td><td>有り</td><td rowspan="16">(表3.3)</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.10t/m3以上0.12t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.12t/m3以上0.14t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.14t/m3以上0.16t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.16t/m3以上0.18t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.18t/m3以上0.20t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.20t/m3以上0.22t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.22t/m3以上0.24t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.24t/m3以上0.26t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.26t/m3以上0.28t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.28t/m3以上0.30t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.30t/m3以上0.32t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.32t/m3以上0.34t/m3未満</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート、型枠、鉄筋、目地材、ゴム支承、スパイラル筋、アンカーキャップ、充填防食材、縦・横目地、養生（一般養生、特殊養生（ジェットヒータ、練炭））、路盤紙、敷砂等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. アンカーボルトは踏掛版受台にて施工されるため含まない。 3. 鉄筋量は、踏掛版1箇所当りの鉄筋量とする（スパイラル筋は含まない）。 4. 路盤材の敷設は含まない。 5. 複数の鉄筋材料規格・径を使用する場合は、主たる規格を選択すること。 6. 鉄筋・コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、鉄筋が+0.03、コンクリートが+0.03とする。 7. 積算条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない設計量とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-1-⑥-2</p>		コンクリート規格	鉄筋量	ゴム支承の有無	鉄筋材料規格・径	(表3.2)	0.08t/m3以上0.10t/m3未満	有り	(表3.3)	無し	0.10t/m3以上0.12t/m3未満	有り	無し	0.12t/m3以上0.14t/m3未満	有り	無し	0.14t/m3以上0.16t/m3未満	有り	無し	0.16t/m3以上0.18t/m3未満	有り	無し	0.18t/m3以上0.20t/m3未満	有り	無し	0.20t/m3以上0.22t/m3未満	有り	無し	0.22t/m3以上0.24t/m3未満	有り	無し	0.24t/m3以上0.26t/m3未満	有り	無し	0.26t/m3以上0.28t/m3未満	有り	無し	0.28t/m3以上0.30t/m3未満	有り	無し	0.30t/m3以上0.32t/m3未満	有り	無し	0.32t/m3以上0.34t/m3未満	有り	無し	<p style="text-align: center;">表3.1 踏掛版設置 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: right;">(積算単位：m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>ゴム支承の有無</th> <th>養生の有無</th> <th>鉄筋材料規格・径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">(表3.2)</td><td rowspan="2">0.08t/m3以上0.10t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td rowspan="16">(表3.3)</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.10t/m3以上0.12t/m3未満</td><td>有り</td><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.12t/m3以上0.14t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.14t/m3以上0.16t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.16t/m3以上0.18t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.18t/m3以上0.20t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.20t/m3以上0.22t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.22t/m3以上0.24t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.24t/m3以上0.26t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.26t/m3以上0.28t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.28t/m3以上0.30t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.30t/m3以上0.32t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="2">0.32t/m3以上0.34t/m3未満</td><td>有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、目地板設置、敷砂・路盤紙設置、型枠設置撤去、コンクリート打設、コンクリート養生の他、コンクリート、型枠用合板、鉄筋、目地材、ゴム支承、スパイラル筋、アンカーキャップ、充填防食材、縦・横目地、養生（一般養生、特殊養生（ジェットヒータ、練炭））、路盤紙、敷砂、高周波バイブレータ、高周波発電機の賃料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. アンカーボルトは踏掛版受台にて施工されるため含まない。 3. 鉄筋加工・組立費が必要な場合は、「第VI編 第2章 市場単価 ①鉄筋工」により別途計上する。その場合、鉄筋量は、踏掛版1箇所当りの鉄筋量とする（スパイラル筋は含まない）。 4. 養生は一般養生程度のものであり、給熱養生等の特殊養生が必要な場合は、養生工無しを選択し、養生費は「第II編 第4章 ①コンクリート工」により別途計上する。 4-5. 路盤材の敷設は含まない。 6. 敷砂の材料費は含まない。 5. 複数の鉄筋材料規格・径を使用する場合は、主たる規格を選択すること。 4-7. 鉄筋・コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、鉄筋が+0.03、コンクリートが+0.03とする。 7. 積算条件区分の鉄筋量は、ロスを含まない設計量とする。 8. 現場条件等により表3.3に示す代表機械の規格により異なる場合は、別途考慮する。</p>		コンクリート規格	鉄筋量	ゴム支承の有無	養生の有無	鉄筋材料規格・径	(表3.2)	0.08t/m3以上0.10t/m3未満	有り	有り	(表3.3)	無し	無し	0.10t/m3以上0.12t/m3未満	有り	無し	有り	無し	無し	無し	0.12t/m3以上0.14t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.14t/m3以上0.16t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.16t/m3以上0.18t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.18t/m3以上0.20t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.20t/m3以上0.22t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.22t/m3以上0.24t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.24t/m3以上0.26t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.26t/m3以上0.28t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.28t/m3以上0.30t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.30t/m3以上0.32t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	0.32t/m3以上0.34t/m3未満	有り	有り	有り	無し	無し	無し	記載の修正・削除（歩掛改定に伴う）
コンクリート規格	鉄筋量	ゴム支承の有無	鉄筋材料規格・径																																																																																																																																															
(表3.2)	0.08t/m3以上0.10t/m3未満	有り	(表3.3)																																																																																																																																															
		無し																																																																																																																																																
	0.10t/m3以上0.12t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
	0.12t/m3以上0.14t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
	0.14t/m3以上0.16t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
	0.16t/m3以上0.18t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
	0.18t/m3以上0.20t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
	0.20t/m3以上0.22t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
	0.22t/m3以上0.24t/m3未満	有り																																																																																																																																																
		無し																																																																																																																																																
0.24t/m3以上0.26t/m3未満	有り																																																																																																																																																	
	無し																																																																																																																																																	
0.26t/m3以上0.28t/m3未満	有り																																																																																																																																																	
	無し																																																																																																																																																	
0.28t/m3以上0.30t/m3未満	有り																																																																																																																																																	
	無し																																																																																																																																																	
0.30t/m3以上0.32t/m3未満	有り																																																																																																																																																	
	無し																																																																																																																																																	
0.32t/m3以上0.34t/m3未満	有り																																																																																																																																																	
	無し																																																																																																																																																	
コンクリート規格	鉄筋量	ゴム支承の有無	養生の有無	鉄筋材料規格・径																																																																																																																																														
(表3.2)	0.08t/m3以上0.10t/m3未満	有り	有り	(表3.3)																																																																																																																																														
		無し	無し																																																																																																																																															
	0.10t/m3以上0.12t/m3未満	有り	無し		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
	0.12t/m3以上0.14t/m3未満	有り	有り		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
	0.14t/m3以上0.16t/m3未満	有り	有り		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
	0.16t/m3以上0.18t/m3未満	有り	有り		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
	0.18t/m3以上0.20t/m3未満	有り	有り		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
	0.20t/m3以上0.22t/m3未満	有り	有り		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
	0.22t/m3以上0.24t/m3未満	有り	有り		有り																																																																																																																																													
		無し	無し		無し																																																																																																																																													
0.24t/m3以上0.26t/m3未満	有り	有り	有り																																																																																																																																															
	無し	無し	無し																																																																																																																																															
0.26t/m3以上0.28t/m3未満	有り	有り	有り																																																																																																																																															
	無し	無し	無し																																																																																																																																															
0.28t/m3以上0.30t/m3未満	有り	有り	有り																																																																																																																																															
	無し	無し	無し																																																																																																																																															
0.30t/m3以上0.32t/m3未満	有り	有り	有り																																																																																																																																															
	無し	無し	無し																																																																																																																																															
0.32t/m3以上0.34t/m3未満	有り	有り	有り																																																																																																																																															
	無し	無し	無し																																																																																																																																															
積算上の注意事項					(控え頁) 2/6																																																																																																																																													

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																
現 行		改 正																																																																																
<p>表3.2 コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="28">コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td><td>19.5-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-12-25(20) (普通)</td><td>19.5-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (普通)</td><td>18-5-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-12-25(20) (普通)</td><td>21-5-40(高炉)</td></tr> <tr><td>27-8-25(20) (普通)</td><td>18-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>27-12-25(20) (普通)</td><td>18-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>30-8-25(20) (普通)</td><td>21-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>30-12-25(20) (普通)</td><td>24-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>40-8-25(20) (普通)</td><td>24-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>40-12-25(20) (普通)</td><td>21-12-40(高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40(普通)</td><td>40-8-25(早強)</td></tr> <tr><td>18-12-40(普通)</td><td>40-12-25(早強)</td></tr> <tr><td>19.5-8-40(普通)</td><td>21-8-25(早強)</td></tr> <tr><td>19.5-12-40(普通)</td><td>21-12-25(早強)</td></tr> <tr><td>21-8-40(普通)</td><td>24-8-25(早強)</td></tr> <tr><td>21-12-40(普通)</td><td>24-12-25(早強)</td></tr> <tr><td>22.5-8-40(普通)</td><td>18-8-25(高炉)</td></tr> <tr><td>22.5-12-40(普通)</td><td>18-12-25(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-40(普通)</td><td>21-5-80(高炉)</td></tr> <tr><td>24-12-40(普通)</td><td>18-3-40(高炉)</td></tr> <tr><td>4.5-2.5-40(普通)</td><td>21-3-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td><td>各種</td></tr> <tr><td>21-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>24-12-25(20) (高炉)</td><td></td></tr> <tr><td>19.5-5-40(高炉)</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>表3.3 鉄筋材料規格・径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">鉄筋材料規格・径</td><td>SD295 D10</td></tr> <tr><td>SD295 D13</td></tr> <tr><td>SD295 D16</td></tr> <tr><td>SD345 D10</td></tr> <tr><td>SD345 D13</td></tr> <tr><td>SD345 D16~D25</td></tr> <tr><td>SD345 D29~D32</td></tr> <tr><td>SD345 D35</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.3 鉄筋材料規格・径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">鉄筋材料規格・径</td><td>SD295-D10</td></tr> <tr><td>SD295-D13</td></tr> <tr><td>SD295-D16</td></tr> <tr><td>SD345-D10</td></tr> <tr><td>SD345-D13</td></tr> <tr><td>SD345-D16~D25</td></tr> <tr><td>SD345-D29~D32</td></tr> <tr><td>SD345-D35</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>		積算条件	区分		コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	19.5-8-40(高炉)	21-12-25(20) (普通)	19.5-12-40(高炉)	24-8-25(20) (普通)	18-5-40(高炉)	24-12-25(20) (普通)	21-5-40(高炉)	27-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)	27-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)	30-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)	30-12-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)	40-8-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)	40-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)	18-8-40(普通)	40-8-25(早強)	18-12-40(普通)	40-12-25(早強)	19.5-8-40(普通)	21-8-25(早強)	19.5-12-40(普通)	21-12-25(早強)	21-8-40(普通)	24-8-25(早強)	21-12-40(普通)	24-12-25(早強)	22.5-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	22.5-12-40(普通)	18-12-25(高炉)	24-8-40(普通)	21-5-80(高炉)	24-12-40(普通)	18-3-40(高炉)	4.5-2.5-40(普通)	21-3-40(高炉)	21-8-25(20) (高炉)	各種	21-12-25(20) (高炉)		24-8-25(20) (高炉)		24-12-25(20) (高炉)		19.5-5-40(高炉)		積算条件	区分	鉄筋材料規格・径	SD295 D10	SD295 D13	SD295 D16	SD345 D10	SD345 D13	SD345 D16~D25	SD345 D29~D32	SD345 D35	各種	積算条件	区分	鉄筋材料規格・径	SD295-D10	SD295-D13	SD295-D16	SD345-D10	SD345-D13	SD345-D16~D25	SD345-D29~D32	SD345-D35	各種	備考
積算条件	区分																																																																																	
コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	19.5-8-40(高炉)																																																																																
	21-12-25(20) (普通)	19.5-12-40(高炉)																																																																																
	24-8-25(20) (普通)	18-5-40(高炉)																																																																																
	24-12-25(20) (普通)	21-5-40(高炉)																																																																																
	27-8-25(20) (普通)	18-8-40(高炉)																																																																																
	27-12-25(20) (普通)	18-12-40(高炉)																																																																																
	30-8-25(20) (普通)	21-8-40(高炉)																																																																																
	30-12-25(20) (普通)	24-8-40(高炉)																																																																																
	40-8-25(20) (普通)	24-12-40(高炉)																																																																																
	40-12-25(20) (普通)	21-12-40(高炉)																																																																																
	18-8-40(普通)	40-8-25(早強)																																																																																
	18-12-40(普通)	40-12-25(早強)																																																																																
	19.5-8-40(普通)	21-8-25(早強)																																																																																
	19.5-12-40(普通)	21-12-25(早強)																																																																																
	21-8-40(普通)	24-8-25(早強)																																																																																
	21-12-40(普通)	24-12-25(早強)																																																																																
	22.5-8-40(普通)	18-8-25(高炉)																																																																																
	22.5-12-40(普通)	18-12-25(高炉)																																																																																
	24-8-40(普通)	21-5-80(高炉)																																																																																
	24-12-40(普通)	18-3-40(高炉)																																																																																
	4.5-2.5-40(普通)	21-3-40(高炉)																																																																																
	21-8-25(20) (高炉)	各種																																																																																
	21-12-25(20) (高炉)																																																																																	
	24-8-25(20) (高炉)																																																																																	
	24-12-25(20) (高炉)																																																																																	
	19.5-5-40(高炉)																																																																																	
	積算条件	区分																																																																																
	鉄筋材料規格・径	SD295 D10																																																																																
SD295 D13																																																																																		
SD295 D16																																																																																		
SD345 D10																																																																																		
SD345 D13																																																																																		
SD345 D16~D25																																																																																		
SD345 D29~D32																																																																																		
SD345 D35																																																																																		
各種																																																																																		
積算条件		区分																																																																																
鉄筋材料規格・径		SD295-D10																																																																																
		SD295-D13																																																																																
	SD295-D16																																																																																	
	SD345-D10																																																																																	
	SD345-D13																																																																																	
	SD345-D16~D25																																																																																	
	SD345-D29~D32																																																																																	
	SD345-D35																																																																																	
	各種																																																																																	
	積算上の注意事項			(控え頁) 3/6																																																																														

改正理由	一部改正	改正 <hr/> 現行																																																																																													
現 行		改 正																																																																																													
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 踏掛版 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ゴム支承 コンクリートヒンジ用緩衝ゴム SBR 単層 10mm</td> <td>ゴム支承有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	型わく工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		Z3	ゴム支承 コンクリートヒンジ用緩衝ゴム SBR 単層 10mm	ゴム支承有りの場合	Z4	軽油 バトロール給油		市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		→	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4.3 踏掛版設置 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ゴム支承 コンクリートヒンジ用緩衝ゴム SBR 単層 10mm</td> <td>ゴム支承有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	型わく工		R3	土木一般世話役		R4	特殊作業員		材料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		Z3	ゴム支承 コンクリートヒンジ用緩衝ゴム SBR 単層 10mm	ゴム支承有りの場合	Z4	軽油 バトロール給油		Z4	—		市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目	代表機材規格		備考																																																																																												
機械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h																																																																																													
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	型わく工																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	特殊作業員																																																																																													
材料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																													
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13																																																																																													
	Z3	ゴム支承 コンクリートヒンジ用緩衝ゴム SBR 単層 10mm	ゴム支承有りの場合																																																																																												
	Z4	軽油 バトロール給油																																																																																													
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																													
項目	代表機材規格		備考																																																																																												
機械	K1	コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h																																																																																													
	K2	—																																																																																													
	K3	—																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																													
	R2	型わく工																																																																																													
	R3	土木一般世話役																																																																																													
	R4	特殊作業員																																																																																													
材料	Z1	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%																																																																																													
	Z2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13																																																																																													
	Z3	ゴム支承 コンクリートヒンジ用緩衝ゴム SBR 単層 10mm	ゴム支承有りの場合																																																																																												
	Z4	軽油 バトロール給油																																																																																													
	Z4	—																																																																																													
市場単価	S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																													
IV-1-⑥-1																																																																																															
積算上の注意事項			(控え頁) 4/6																																																																																												

改正理由	一部改正	改正	
		現 行	

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

4. 施工単価入力基準表
(1) 踏掛版

パッケージコード	CB411010	施工単位	m3	入 力 条 件				
施工区分	入 力 条 件							
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5			
	コンクリート規格 (表 4.1)	鉄筋量 ①0.08t/m3以上0.10t/m3未満 ②0.10t/m3以上0.12t/m3未満 ③0.12t/m3以上0.14t/m3未満 ④0.14t/m3以上0.16t/m3未満 ⑤0.16t/m3以上0.18t/m3未満 ⑥0.18t/m3以上0.20t/m3未満 ⑦0.20t/m3以上0.22t/m3未満 ⑧0.22t/m3以上0.24t/m3未満 ⑨0.24t/m3以上0.26t/m3未満 ⑩0.26t/m3以上0.28t/m3未満 ⑪0.28t/m3以上0.30t/m3未満 ⑫0.30t/m3以上0.32t/m3未満 ⑬0.32t/m3以上0.34t/m3未満	ゴム支承の有無 ①有り ②無し	鉄筋材料規格・径 (表 4.2)	鉄筋工の労務補正 ①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける場合(1.375)			

- (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。
 2. J 1 条件で各種を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3]を単価登録すること。
 3. 本コードは、鉄筋の材料ロスを含んでいるため、J 2 条件は、ロスを含まない数量を選択すること。(スパイラル筋は含まない。)
 4. J 3 条件で①を選択した場合は、ゴム支承単価 (Y-1312002) [円/m2]を単価登録すること。
 5. J 4 条件は、主たる規格を選択すること。
 6. J 4 条件で各種を選択した場合は、鉄筋コンクリート用棒鋼単価 (Y-0004000) [円/t]を単価登録すること。

IV-1-⑥-5

4. 施工単価入力基準表
(1) 踏掛版設置

パッケージコード	CB411010	施工単位	m3	入 力 条 件				
施工区分	入 力 条 件							
各種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5			
	コンクリート規格 (表 4.1)	鉄筋量 ①0.08t/m3以上0.10t/m3未満 ②0.10t/m3以上0.12t/m3未満 ③0.12t/m3以上0.14t/m3未満 ④0.14t/m3以上0.16t/m3未満 ⑤0.16t/m3以上0.18t/m3未満 ⑥0.18t/m3以上0.20t/m3未満 ⑦0.20t/m3以上0.22t/m3未満 ⑧0.22t/m3以上0.24t/m3未満 ⑨0.24t/m3以上0.26t/m3未満 ⑩0.26t/m3以上0.28t/m3未満 ⑪0.28t/m3以上0.30t/m3未満 ⑫0.30t/m3以上0.32t/m3未満 ⑬0.32t/m3以上0.34t/m3未満	ゴム支承の有無 ①有り ②無し	鉄筋材料規格・径 (表 4.2)	養生工の有無 ①有り ②無し	鉄筋工の労務補正 ①標準(1.0) ②時間的制約を受ける場合(1.10) ③夜間作業の場合(1.25) ④夜間作業及び時間的制約を受ける場合(1.375)		

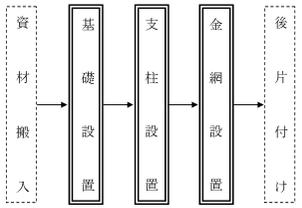
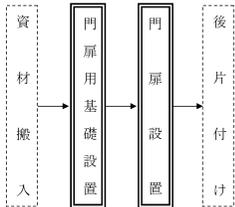
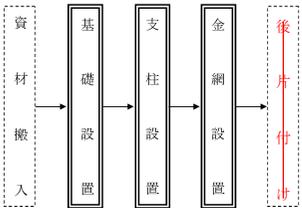
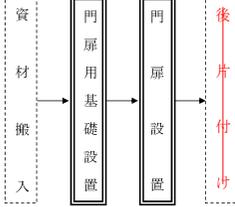
- (注) 1. 本コードは、コンクリートの材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。
 2. J 1 条件で各種を選択した場合は、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/m3]を単価登録すること。
 3. 本コードは、鉄筋の材料ロスを含んでいるため、J 2 条件は、ロスを含まない数量を選択すること。(スパイラル筋は含まない。)
 4. J 3 条件で①を選択した場合は、ゴム支承単価 (Y-1312002) [円/m2]を単価登録すること。
 4. 特殊養生を必要とする場合は、J 3 条件で②を選択し、養生費は「第Ⅱ編 第4章 ①コンクリート工」により別途計上する。
 5. J 4 条件は、主たる規格を選択すること。
 6. J 4 条件で各種を選択した場合は、鉄筋コンクリート用棒鋼単価 (Y-0004000) [円/t]を単価登録すること。

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項				(控え頁) 5/6
----------	--	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																					
現 行		改 正																																																																																																																																																					
<p>表 4. 1 生コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生コンクリート</th> <th>入力番号</th> <th></th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>21-8-25(20)(普通)</td><td>㉑</td><td>19.5-8-40(高炉)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>21-12-25(20)(普通)</td><td>㉓</td><td>19.5-12-40(高炉)</td><td>㉔</td></tr> <tr><td>24-8-25(20)(普通)</td><td>㉕</td><td>18-5-40(高炉)</td><td>㉖</td></tr> <tr><td>24-12-25(20)(普通)</td><td>㉗</td><td>21-5-40(高炉)</td><td>㉘</td></tr> <tr><td>27-8-25(20)(普通)</td><td>㉙</td><td>18-8-40(高炉)</td><td>㉚</td></tr> <tr><td>27-12-25(20)(普通)</td><td>㉛</td><td>18-12-40(高炉)</td><td>㉜</td></tr> <tr><td>30-8-25(20)(普通)</td><td>㉝</td><td>21-8-40(高炉)</td><td>㉞</td></tr> <tr><td>30-12-25(20)(普通)</td><td>㉟</td><td>24-8-40(高炉)</td><td>㊱</td></tr> <tr><td>40-8-25(20)(普通)</td><td>㊲</td><td>24-12-40(高炉)</td><td>㊳</td></tr> <tr><td>40-12-25(20)(普通)</td><td>㊴</td><td>21-12-40(高炉)</td><td>㊵</td></tr> <tr><td>18-8-40(普通)</td><td>㊶</td><td>40-8-25(早強)</td><td>㊷</td></tr> <tr><td>18-12-40(普通)</td><td>㊸</td><td>40-12-25(早強)</td><td>㊹</td></tr> <tr><td>19.5-8-40(普通)</td><td>㊺</td><td>21-8-25(早強)</td><td>㊻</td></tr> <tr><td>19.5-12-40(普通)</td><td>㊼</td><td>21-12-25(早強)</td><td>㊽</td></tr> <tr><td>21-8-40(普通)</td><td>㊾</td><td>24-8-25(早強)</td><td>㊿</td></tr> <tr><td>21-12-40(普通)</td><td>㋀</td><td>24-12-25(早強)</td><td>㋁</td></tr> <tr><td>22.5-8-40(普通)</td><td>㋂</td><td>18-8-25(高炉)</td><td>㋃</td></tr> <tr><td>22.5-12-40(普通)</td><td>㋄</td><td>18-12-25(高炉)</td><td>㋅</td></tr> <tr><td>24-8-40(普通)</td><td>㋆</td><td>21-5-80(高炉)</td><td>㋇</td></tr> <tr><td>24-12-40(普通)</td><td>㋈</td><td>18-3-40(高炉)</td><td>㋉</td></tr> <tr><td>4.5-2.5-40(普通)</td><td>㋊</td><td>21-3-40(高炉)</td><td>㋋</td></tr> <tr><td>21-8-25(20)(高炉)</td><td>㋌</td><td>各種</td><td>㋍</td></tr> <tr><td>21-12-25(20)(高炉)</td><td>㋎</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24-8-25(20)(高炉)</td><td>㋏</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>24-12-25(20)(高炉)</td><td>㋐</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19.5-5-40(高炉)</td><td>㋑</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>表 4. 2 鉄筋材料規格・径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋材料規格・径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SD295</td><td>D10 ㉑</td></tr> <tr><td></td><td>D13 ㉒</td></tr> <tr><td></td><td>D16 ㉓</td></tr> <tr><td>SD345</td><td>D10 ㉔</td></tr> <tr><td></td><td>D13 ㉕</td></tr> <tr><td></td><td>D16~D25 ㉖</td></tr> <tr><td></td><td>D29~D32 ㉗</td></tr> <tr><td></td><td>D35 ㉘</td></tr> <tr><td>各種</td><td>㉙</td></tr> </tbody> </table> <p>IV-1-㉙-6</p>		生コンクリート	入力番号		入力番号	21-8-25(20)(普通)	㉑	19.5-8-40(高炉)	㉒	21-12-25(20)(普通)	㉓	19.5-12-40(高炉)	㉔	24-8-25(20)(普通)	㉕	18-5-40(高炉)	㉖	24-12-25(20)(普通)	㉗	21-5-40(高炉)	㉘	27-8-25(20)(普通)	㉙	18-8-40(高炉)	㉚	27-12-25(20)(普通)	㉛	18-12-40(高炉)	㉜	30-8-25(20)(普通)	㉝	21-8-40(高炉)	㉞	30-12-25(20)(普通)	㉟	24-8-40(高炉)	㊱	40-8-25(20)(普通)	㊲	24-12-40(高炉)	㊳	40-12-25(20)(普通)	㊴	21-12-40(高炉)	㊵	18-8-40(普通)	㊶	40-8-25(早強)	㊷	18-12-40(普通)	㊸	40-12-25(早強)	㊹	19.5-8-40(普通)	㊺	21-8-25(早強)	㊻	19.5-12-40(普通)	㊼	21-12-25(早強)	㊽	21-8-40(普通)	㊾	24-8-25(早強)	㊿	21-12-40(普通)	㋀	24-12-25(早強)	㋁	22.5-8-40(普通)	㋂	18-8-25(高炉)	㋃	22.5-12-40(普通)	㋄	18-12-25(高炉)	㋅	24-8-40(普通)	㋆	21-5-80(高炉)	㋇	24-12-40(普通)	㋈	18-3-40(高炉)	㋉	4.5-2.5-40(普通)	㋊	21-3-40(高炉)	㋋	21-8-25(20)(高炉)	㋌	各種	㋍	21-12-25(20)(高炉)	㋎			24-8-25(20)(高炉)	㋏			24-12-25(20)(高炉)	㋐			19.5-5-40(高炉)	㋑			鉄筋材料規格・径	入力番号	SD295	D10 ㉑		D13 ㉒		D16 ㉓	SD345	D10 ㉔		D13 ㉕		D16~D25 ㉖		D29~D32 ㉗		D35 ㉘	各種	㉙	<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>現行どおり</p> <p>表 4. 2 鉄筋材料規格・径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋材料規格・径</th> <th>入力番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SD295</td><td>D10 ㉑</td></tr> <tr><td></td><td>D13 ㉒</td></tr> <tr><td></td><td>D16 ㉓</td></tr> <tr><td>SD345</td><td>D10 ㉔</td></tr> <tr><td></td><td>D13 ㉕</td></tr> <tr><td></td><td>D16~D25 ㉖</td></tr> <tr><td></td><td>D29~D32 ㉗</td></tr> <tr><td></td><td>D35 ㉘</td></tr> <tr><td>各種</td><td>㉙</td></tr> </tbody> </table>	鉄筋材料規格・径	入力番号	SD295	D10 ㉑		D13 ㉒		D16 ㉓	SD345	D10 ㉔		D13 ㉕		D16~D25 ㉖		D29~D32 ㉗		D35 ㉘	各種	㉙	備考
生コンクリート	入力番号		入力番号																																																																																																																																																				
21-8-25(20)(普通)	㉑	19.5-8-40(高炉)	㉒																																																																																																																																																				
21-12-25(20)(普通)	㉓	19.5-12-40(高炉)	㉔																																																																																																																																																				
24-8-25(20)(普通)	㉕	18-5-40(高炉)	㉖																																																																																																																																																				
24-12-25(20)(普通)	㉗	21-5-40(高炉)	㉘																																																																																																																																																				
27-8-25(20)(普通)	㉙	18-8-40(高炉)	㉚																																																																																																																																																				
27-12-25(20)(普通)	㉛	18-12-40(高炉)	㉜																																																																																																																																																				
30-8-25(20)(普通)	㉝	21-8-40(高炉)	㉞																																																																																																																																																				
30-12-25(20)(普通)	㉟	24-8-40(高炉)	㊱																																																																																																																																																				
40-8-25(20)(普通)	㊲	24-12-40(高炉)	㊳																																																																																																																																																				
40-12-25(20)(普通)	㊴	21-12-40(高炉)	㊵																																																																																																																																																				
18-8-40(普通)	㊶	40-8-25(早強)	㊷																																																																																																																																																				
18-12-40(普通)	㊸	40-12-25(早強)	㊹																																																																																																																																																				
19.5-8-40(普通)	㊺	21-8-25(早強)	㊻																																																																																																																																																				
19.5-12-40(普通)	㊼	21-12-25(早強)	㊽																																																																																																																																																				
21-8-40(普通)	㊾	24-8-25(早強)	㊿																																																																																																																																																				
21-12-40(普通)	㋀	24-12-25(早強)	㋁																																																																																																																																																				
22.5-8-40(普通)	㋂	18-8-25(高炉)	㋃																																																																																																																																																				
22.5-12-40(普通)	㋄	18-12-25(高炉)	㋅																																																																																																																																																				
24-8-40(普通)	㋆	21-5-80(高炉)	㋇																																																																																																																																																				
24-12-40(普通)	㋈	18-3-40(高炉)	㋉																																																																																																																																																				
4.5-2.5-40(普通)	㋊	21-3-40(高炉)	㋋																																																																																																																																																				
21-8-25(20)(高炉)	㋌	各種	㋍																																																																																																																																																				
21-12-25(20)(高炉)	㋎																																																																																																																																																						
24-8-25(20)(高炉)	㋏																																																																																																																																																						
24-12-25(20)(高炉)	㋐																																																																																																																																																						
19.5-5-40(高炉)	㋑																																																																																																																																																						
鉄筋材料規格・径	入力番号																																																																																																																																																						
SD295	D10 ㉑																																																																																																																																																						
	D13 ㉒																																																																																																																																																						
	D16 ㉓																																																																																																																																																						
SD345	D10 ㉔																																																																																																																																																						
	D13 ㉕																																																																																																																																																						
	D16~D25 ㉖																																																																																																																																																						
	D29~D32 ㉗																																																																																																																																																						
	D35 ㉘																																																																																																																																																						
各種	㉙																																																																																																																																																						
鉄筋材料規格・径	入力番号																																																																																																																																																						
SD295	D10 ㉑																																																																																																																																																						
	D13 ㉒																																																																																																																																																						
	D16 ㉓																																																																																																																																																						
SD345	D10 ㉔																																																																																																																																																						
	D13 ㉕																																																																																																																																																						
	D16~D25 ㉖																																																																																																																																																						
	D29~D32 ㉗																																																																																																																																																						
	D35 ㉘																																																																																																																																																						
各種	㉙																																																																																																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 6/6																																																																																																																																																				

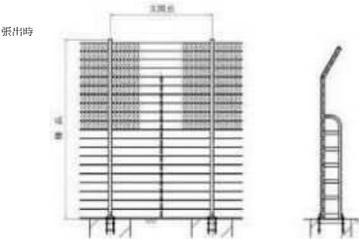
改 正 理 由	一 部 改 正				改 正 現 行	備 考																																																																																				
現	行				改 正	備 考																																																																																				
(6) 機械運転単価表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> <th>適 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ダウンザホールハンマ</td> <td>空圧式 掘削孔径φ152～191mm</td> <td rowspan="2">機—25</td> <td>機械損料数量 →1.48</td> <td>端末基礎（鋼管杭） 削孔</td> </tr> <tr> <td>空圧式 掘削孔径φ110～130mm</td> <td>機械損料数量 →1.47</td> <td>中間支柱・端末支柱 削孔</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第2次基準値） 吐出力5.0～5.1m3/min</td> <td>機—24</td> <td>燃料消費量 →34 機械損料数量 →1.48</td> <td>端末基礎（鋼管杭） 削孔</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガードレール支柱打込機</td> <td rowspan="2">エアブレーカ式 ブレーカ質量700kg級 打撃周波数530bpm</td> <td rowspan="2">機—19</td> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.48</td> <td>端末基礎（鋼管杭） 打込</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.47</td> <td>中間支柱・端末支柱 打込</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ト ラ ッ ク</td> <td rowspan="6">クレーン装置付 ベストラック 4～4.5t積・吊能力2.9t</td> <td rowspan="6">機—18</td> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.48</td> <td>端末基礎・端末金具 設置（鋼管杭）</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.47</td> <td>中間支柱・端末支柱 設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.30</td> <td>ワイヤロープ設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.26</td> <td>ターンバックル設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.40</td> <td>橋梁部基礎・支柱設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41</td> <td>橋梁部基礎・支柱設置</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	適 用	ダウンザホールハンマ	空圧式 掘削孔径φ152～191mm	機—25	機械損料数量 →1.48	端末基礎（鋼管杭） 削孔	空圧式 掘削孔径φ110～130mm	機械損料数量 →1.47	中間支柱・端末支柱 削孔	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第2次基準値） 吐出力5.0～5.1m3/min	機—24	燃料消費量 →34 機械損料数量 →1.48	端末基礎（鋼管杭） 削孔	ガードレール支柱打込機	エアブレーカ式 ブレーカ質量700kg級 打撃周波数530bpm	機—19	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.48	端末基礎（鋼管杭） 打込	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.47	中間支柱・端末支柱 打込	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベストラック 4～4.5t積・吊能力2.9t	機—18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.48	端末基礎・端末金具 設置（鋼管杭）	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.47	中間支柱・端末支柱 設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.30	ワイヤロープ設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.26	ターンバックル設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.40	橋梁部基礎・支柱設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41	橋梁部基礎・支柱設置	(6) 機械運転単価表	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> <th>適 用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ダウンザホールハンマ</td> <td>空圧式 掘削孔径φ152～191mm</td> <td rowspan="2">機—25</td> <td>機械損料数量 →1.49</td> <td>端末基礎（鋼管杭） 削孔</td> </tr> <tr> <td>空圧式 掘削孔径φ110～130mm</td> <td>機械損料数量 →1.48</td> <td>中間支柱・端末支柱 削孔</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第2次基準値） 吐出力5.0～5.1m3/min</td> <td>機—24</td> <td>燃料消費量 →34 機械損料数量 →1.49</td> <td>端末基礎（鋼管杭） 削孔</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガードレール支柱打込機</td> <td rowspan="2">エアブレーカ式 ブレーカ質量700kg級 打撃周波数530bpm</td> <td rowspan="2">機—19</td> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.49</td> <td>端末基礎（鋼管杭） 打込</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.48</td> <td>中間支柱・端末支柱 打込</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ト ラ ッ ク</td> <td rowspan="6">クレーン装置付 ベストラック 4～4.5t積・吊能力2.9t</td> <td rowspan="6">機—18</td> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.49</td> <td>端末基礎・端末金具 設置（鋼管杭）</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.48</td> <td>中間支柱・端末支柱 設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.31</td> <td>ワイヤロープ設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.27</td> <td>ターンバックル設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41</td> <td>橋梁部基礎・支柱設置</td> </tr> <tr> <td>運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41</td> <td>橋梁部基礎・支柱設置</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	適 用	ダウンザホールハンマ	空圧式 掘削孔径φ152～191mm	機—25	機械損料数量 →1.49	端末基礎（鋼管杭） 削孔	空圧式 掘削孔径φ110～130mm	機械損料数量 →1.48	中間支柱・端末支柱 削孔	空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第2次基準値） 吐出力5.0～5.1m3/min	機—24	燃料消費量 →34 機械損料数量 →1.49	端末基礎（鋼管杭） 削孔	ガードレール支柱打込機	エアブレーカ式 ブレーカ質量700kg級 打撃周波数530bpm	機—19	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.49	端末基礎（鋼管杭） 打込	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.48	中間支柱・端末支柱 打込	ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベストラック 4～4.5t積・吊能力2.9t	機—18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.49	端末基礎・端末金具 設置（鋼管杭）	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.48	中間支柱・端末支柱 設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.31	ワイヤロープ設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.27	ターンバックル設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41	橋梁部基礎・支柱設置	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41	橋梁部基礎・支柱設置	記載の変更
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	適 用																																																																																						
ダウンザホールハンマ	空圧式 掘削孔径φ152～191mm	機—25	機械損料数量 →1.48	端末基礎（鋼管杭） 削孔																																																																																						
	空圧式 掘削孔径φ110～130mm		機械損料数量 →1.47	中間支柱・端末支柱 削孔																																																																																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第2次基準値） 吐出力5.0～5.1m3/min	機—24	燃料消費量 →34 機械損料数量 →1.48	端末基礎（鋼管杭） 削孔																																																																																						
ガードレール支柱打込機	エアブレーカ式 ブレーカ質量700kg級 打撃周波数530bpm	機—19	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.48	端末基礎（鋼管杭） 打込																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.47	中間支柱・端末支柱 打込																																																																																						
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベストラック 4～4.5t積・吊能力2.9t	機—18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.48	端末基礎・端末金具 設置（鋼管杭）																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.47	中間支柱・端末支柱 設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.30	ワイヤロープ設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.26	ターンバックル設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.40	橋梁部基礎・支柱設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41	橋梁部基礎・支柱設置																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	適 用																																																																																						
ダウンザホールハンマ	空圧式 掘削孔径φ152～191mm	機—25	機械損料数量 →1.49	端末基礎（鋼管杭） 削孔																																																																																						
	空圧式 掘削孔径φ110～130mm		機械損料数量 →1.48	中間支柱・端末支柱 削孔																																																																																						
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型（超低騒音型）・排出ガス対策型（第2次基準値） 吐出力5.0～5.1m3/min	機—24	燃料消費量 →34 機械損料数量 →1.49	端末基礎（鋼管杭） 削孔																																																																																						
ガードレール支柱打込機	エアブレーカ式 ブレーカ質量700kg級 打撃周波数530bpm	機—19	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.49	端末基礎（鋼管杭） 打込																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →43 機械損料数量 →1.48	中間支柱・端末支柱 打込																																																																																						
ト ラ ッ ク	クレーン装置付 ベストラック 4～4.5t積・吊能力2.9t	機—18	運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.49	端末基礎・端末金具 設置（鋼管杭）																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.48	中間支柱・端末支柱 設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →30 機械損料数量 →1.31	ワイヤロープ設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.27	ターンバックル設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41	橋梁部基礎・支柱設置																																																																																						
			運転労務数量 →1.00 燃料消費量 →31 機械損料数量 →1.41	橋梁部基礎・支柱設置																																																																																						
IV-2-①-15																																																																																										
積算上の注意事項						(控え頁) 1/1																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考
	現 行	改 正	
	<p>1-2. 施 工 概 要</p> <p>1-2-1 施工フロー</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 立入り防止柵設置</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(2) 門扉設置</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>1-2. 施 工 概 要</p> <p>1-2-1 施工フロー</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 立入り防止柵設置</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(2) 門扉設置</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	記載の変更
積算上の注意事項	IV-2-①-18		(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																					
現	行	改	正																																																																																																					
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 基礎ブロック、鋼管基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K 1</td> <td>小型バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.11m³ (平積 0.08m³) 吊能力 0.8t</td> <td>基礎ブロックで門扉の場合</td> </tr> <tr> <td>油圧ブレード バケット容量 0.1m³ 対応 (ベースマシン含む)</td> <td>・賃料 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td>鋼管基礎の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="2">Z 1</td> <td>基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)</td> <td>基礎ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>鋼管基礎 φ101.6×3.2×600</td> <td>支柱高・門柱高 2m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050</td> <td>支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	小型バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³) 吊能力 0.8t	基礎ブロックで門扉の場合	油圧ブレード バケット容量 0.1m ³ 対応 (ベースマシン含む)	・賃料 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合	K 2	—			K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手 (特殊)		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員	鋼管基礎の場合	材料	Z 1	基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)	基礎ブロックの場合	鋼管基礎 φ101.6×3.2×600	支柱高・門柱高 2m 以下の場合	鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050	支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油	・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 2 基礎ブロック、鋼管基礎 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="2">K 1</td> <td>小型バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.11m³ (平積 0.08m³) 吊能力 0.8t</td> <td>基礎ブロックで門扉の場合</td> </tr> <tr> <td>油圧ブレード バケット容量 0.1m³ 対応 (ベースマシン含む)</td> <td>・賃料 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td>鋼管基礎の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="2">Z 1</td> <td>基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)</td> <td>基礎ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>鋼管基礎 φ101.6×3.2×600</td> <td>支柱高・門柱高 2m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050</td> <td>支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	小型バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³) 吊能力 0.8t	基礎ブロックで門扉の場合	油圧ブレード バケット容量 0.1m ³ 対応 (ベースマシン含む)	・賃料 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合	K 2	—			K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	運転手 (特殊)		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員	鋼管基礎の場合	材料	Z 1	基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)	基礎ブロックの場合	鋼管基礎 φ101.6×3.2×600	支柱高・門柱高 2m 以下の場合	鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050	支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油	・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>記載の変更</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																					
機械	K 1	小型バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³) 吊能力 0.8t	基礎ブロックで門扉の場合																																																																																																					
		油圧ブレード バケット容量 0.1m ³ 対応 (ベースマシン含む)	・賃料 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合																																																																																																					
	K 2	—																																																																																																						
	K 3	—																																																																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																																																																						
	R 2	運転手 (特殊)																																																																																																						
	R 3	土木一般世話役																																																																																																						
	R 4	特殊作業員	鋼管基礎の場合																																																																																																					
材料	Z 1	基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)	基礎ブロックの場合																																																																																																					
		鋼管基礎 φ101.6×3.2×600	支柱高・門柱高 2m 以下の場合																																																																																																					
	鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050	支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合																																																																																																						
	Z 2	軽油 バトロール給油	・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合																																																																																																					
	Z 3	—																																																																																																						
Z 4	—																																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																																						
項目	代表機材規格		備考																																																																																																					
機械	K 1	小型バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³) 吊能力 0.8t	基礎ブロックで門扉の場合																																																																																																					
		油圧ブレード バケット容量 0.1m ³ 対応 (ベースマシン含む)	・賃料 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合																																																																																																					
	K 2	—																																																																																																						
	K 3	—																																																																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																																																																						
	R 2	運転手 (特殊)																																																																																																						
	R 3	土木一般世話役																																																																																																						
	R 4	特殊作業員	鋼管基礎の場合																																																																																																					
材料	Z 1	基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45 (cm)	基礎ブロックの場合																																																																																																					
		鋼管基礎 φ101.6×3.2×600	支柱高・門柱高 2m 以下の場合																																																																																																					
	鋼管基礎 φ101.6×3.2×1,050	支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合																																																																																																						
	Z 2	軽油 バトロール給油	・基礎ブロックで門扉の場合 ・鋼管基礎で支柱高・門柱高 2m を超え 2.5m 以下の場合																																																																																																					
	Z 3	—																																																																																																						
Z 4	—																																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																																						
積算上の注意事項	IV-2-①-20		(控え頁) 2/2																																																																																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考								
	現 行	改 正									
	<p>①-6 防雪柵現地張出し・収納工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現地収納式防雪柵の張出し及び収納に適用する。また、防雪柵の種類及び収納方式、柵高・支間長は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表1.1 防雪柵の種類及び柵高・支間長</caption> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>収 納 方 式</th> <th>柵 高</th> <th>支 間 長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・車動型)</td> <td>5.5 m 以下</td> <td>4.0 m 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。 2. 支間長は、支柱の中心間長さとする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>張出し作業</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>収納作業</p> </div> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	種 類	収 納 方 式	柵 高	支 間 長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・車動型)	5.5 m 以下	4.0 m 以下	<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>張出し作業</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>収納作業</p> </div> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>記載の削除</p>
種 類	収 納 方 式	柵 高	支 間 長								
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・車動型)	5.5 m 以下	4.0 m 以下								
積算上の注意事項	IV-2-①-35		(控え頁) 1/4								

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																										
現 行		改 正																																																																																																										
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 防雪柵現地張出し・収納</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 防雪柵現地張出し・収納 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>防雪柵高さ（種類）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">張出し</td> <td>4.3m 以下（吹払式・吹止式）</td> </tr> <tr> <td>4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収納</td> <td>4.3m 以下（吹払式・吹止式）</td> </tr> <tr> <td>4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、冬期安全施設における現地収納式防雪柵の張出し・収納の他、脚立及びレンヂの損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.2 防雪柵現地張出し・収納 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-2-①-36</p>		作業区分	防雪柵高さ（種類）	張出し	4.3m 以下（吹払式・吹止式）	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）	収納	4.3m 以下（吹払式・吹止式）	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 防雪柵現地張出し・収納</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 防雪柵現地張出し・収納 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>防雪柵高さ（種類）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">張出し</td> <td>4.3m 以下（吹払式・吹止式）</td> </tr> <tr> <td>4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収納</td> <td>4.3m 以下（吹払式・吹止式）</td> </tr> <tr> <td>4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、冬期安全施設における現地収納式防雪柵の張出し・収納の他、脚立及びレンヂの損料等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.2 防雪柵現地張出し・収納 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		作業区分	防雪柵高さ（種類）	張出し	4.3m 以下（吹払式・吹止式）	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）	収納	4.3m 以下（吹払式・吹止式）	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		記載の変更
作業区分	防雪柵高さ（種類）																																																																																																											
張出し	4.3m 以下（吹払式・吹止式）																																																																																																											
	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）																																																																																																											
収納	4.3m 以下（吹払式・吹止式）																																																																																																											
	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）																																																																																																											
項目	代表機材規格		備考																																																																																																									
機械	K1	—																																																																																																										
	K2	—																																																																																																										
	K3	—																																																																																																										
労務	R1	普通作業員																																																																																																										
	R2	土木一般世話役																																																																																																										
	R3	—																																																																																																										
	R4	—																																																																																																										
材料	Z1	—																																																																																																										
	Z2	—																																																																																																										
	Z3	—																																																																																																										
	Z4	—																																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																																										
作業区分	防雪柵高さ（種類）																																																																																																											
張出し	4.3m 以下（吹払式・吹止式）																																																																																																											
	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）																																																																																																											
収納	4.3m 以下（吹払式・吹止式）																																																																																																											
	4.3m を超え 5.5m 以下（吹止式）																																																																																																											
項目	代表機材規格		備考																																																																																																									
機械	K1	—																																																																																																										
	K2	—																																																																																																										
	K3	—																																																																																																										
労務	R1	普通作業員																																																																																																										
	R2	土木一般世話役																																																																																																										
	R3	—																																																																																																										
	R4	—																																																																																																										
材料	Z1	—																																																																																																										
	Z2	—																																																																																																										
	Z3	—																																																																																																										
	Z4	—																																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																																																																																									

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 — 現 行	備 考
現	行	改	正
<p>4. 参考図</p> <p>(1) 吹払式 (連動型)</p>  <p>(2) 吹払式 (単動型)</p>  <p>(3) 吹止式 (連動型・単動型)</p>  <p style="text-align: center;">IV-2-①-37</p>	<p>→ 43. 参考図</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>	
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4

改正理由	一部改正		改正 現行																			
現 行		改 正		備 考																		
<p>5. 施工単価入力基準表 (1) 防雪柵現地張出し・収納</p> <table border="1"> <tr> <td>パッケージコード</td> <td>CB421050</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td colspan="2">J 2</td> </tr> <tr> <td>作 業 区 分</td> <td colspan="2">防 雪 柵 高 さ (種 類)</td> </tr> <tr> <td>①張出し ②収 納</td> <td colspan="2">①4.3m 以下 (吹払式・吹止式) ②4.3m を超え 5.5m 以下 (吹止式)</td> </tr> </table>		パッケージコード	CB421050	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作 業 区 分	防 雪 柵 高 さ (種 類)		①張出し ②収 納	①4.3m 以下 (吹払式・吹止式) ②4.3m を超え 5.5m 以下 (吹止式)		<p>54. 施工単価入力基準表</p> <p>現行どおり</p>		記載の変更
パッケージコード	CB421050	施工単位	m																			
施工区分	入 力 条 件																					
各 種	J 1	J 2																				
	作 業 区 分	防 雪 柵 高 さ (種 類)																				
	①張出し ②収 納	①4.3m 以下 (吹払式・吹止式) ②4.3m を超え 5.5m 以下 (吹止式)																				
IV-2-①-38																						
積算上の注意事項				(控え頁) 4/4																		

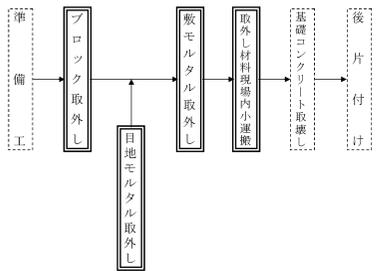
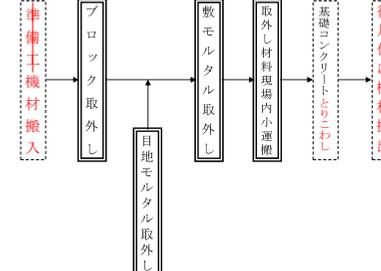
工 種	路側工(据付け)
-----	----------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
	<p>③-1 路側工(据付け)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 歩車道境界ブロック 製品長2m以下の場合 1-1-2 地先境界ブロック 製品長2m以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 歩車道境界ブロック 製品長が2mを超える場合 1-2-2 地先境界ブロック 製品長が2mを超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 養生の種類（一般養生、特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ)）にかかわらず適用出来る。 3. () 書きについては、必要な場合計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-2-③-1</p>	<p>現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 歩車道境界ブロック (1) 製品長が2mを超える場合 (2) ブロック規格が「600mm以下、50kg以上100kg未満」または「600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満」、かつ作業半径3mを超える場合 (3) ブロック規格が「600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満」、かつ作業半径5mを超える場合 1-2-2 地先境界ブロック (1) 製品長が2mを超える場合 (2) ブロック規格が「600mm以下、50kg以上100kg未満」または「600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満」、かつ作業半径3mを超える場合 (3) ブロック規格が「600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満」、かつ作業半径5mを超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 養生の種類（一般養生、特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ)）にかかわらず適用出来る。 3. () 書きについては、必要な場合計上する。</p>	<p>記載の修正 (歩掛改定に伴う)</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

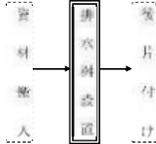
改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																													
現	行	改 正	備 考																																																																													
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 歩車道境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 小型バックホウ（クローラ型）【後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）】山積0.09m³（平積0.07m³）吊能力0.9t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.45m³（平積0.35m³）吊能力2.9t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2014年規制）】山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>型わく工 運転手（特殊）</td> <td>・均し基礎コンクリート有りの場合 ・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600) 歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ブロック規格は、以下のとおりとする。 ①：A 種(150/170×200×600) ②：B 種(180/205×250×600) ③：C 種(180/210×300×600) ④：各種(600mm 以下、50kg 未満) ⑤：各種(600mm 以下、50kg 以上 100kg 未満) ⑥：各種(600mm 超 1000mm 以下、50kg 以上 150kg 未満) ⑦：各種(1000mm 超 2000mm 以下、150kg 以上 550kg 未満)</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 小型バックホウ（クローラ型）【後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）】山積0.09m ³ （平積0.07m ³ ）吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合	バックホウ（クローラ型）【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合	K 2 バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2014年規制）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合		K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	型わく工 運転手（特殊）	・均し基礎コンクリート有りの場合 ・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	材料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600) 歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)	設置の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	市場単価	S	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 歩車道境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 小型バックホウ（クローラ型）【後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）】山積0.09m³（平積0.07m³）吊能力0.9t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ（クローラ型）【標準超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値2014年規制）】山積 0.450.28m³（平積 0.350.20m³）吊能力 2.91.7t</td> <td>・賃料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2014年規制）】山積0.8m³（平積0.6m³）</td> <td>・賃料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>型わく工 運転手（特殊）</td> <td>・均し基礎コンクリート有りの場合 ・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600) 歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 小型バックホウ（クローラ型）【後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）】山積0.09m ³ （平積0.07m ³ ）吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合	バックホウ（クローラ型）【標準超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値2014年規制）】山積 0.45 0.28m ³ （平積 0.35 0.20m ³ ）吊能力 2.9 1.7t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合	K 2 バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2014年規制）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合		K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	型わく工 運転手（特殊）	・均し基礎コンクリート有りの場合 ・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	材料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600) 歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)	設置の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																														
機械	K 1 小型バックホウ（クローラ型）【後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）】山積0.09m ³ （平積0.07m ³ ）吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合																																																																														
	バックホウ（クローラ型）【標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値）】山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合																																																																														
	K 2 バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2014年規制）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																																																														
	K 3	—																																																																														
労務	R 1	普通作業員																																																																														
	R 2	特殊作業員																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																														
	R 4	型わく工 運転手（特殊）	・均し基礎コンクリート有りの場合 ・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																																																																													
材料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600) 歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)	設置の場合																																																																													
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																													
	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																													
	Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																																																																													
市場単価	S	—																																																																														
項目	代表機材規格	備考																																																																														
機械	K 1 小型バックホウ（クローラ型）【後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第3次基準値）】山積0.09m ³ （平積0.07m ³ ）吊能力0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合																																																																														
	バックホウ（クローラ型）【標準超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第2次基準値2014年規制）】山積 0.45 0.28m ³ （平積 0.35 0.20m ³ ）吊能力 2.9 1.7t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合																																																																														
	K 2 バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2014年規制）】山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合																																																																														
	K 3	—																																																																														
労務	R 1	普通作業員																																																																														
	R 2	特殊作業員																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																														
	R 4	型わく工 運転手（特殊）	・均し基礎コンクリート有りの場合 ・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																																																																													
材料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B 種(180/205×250×600) 歩車道境界ブロック C 種(180/210×300×600)	設置の場合																																																																													
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																													
	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																													
	Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																																																																													
市場単価	S	—																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																																																													

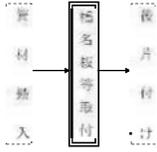
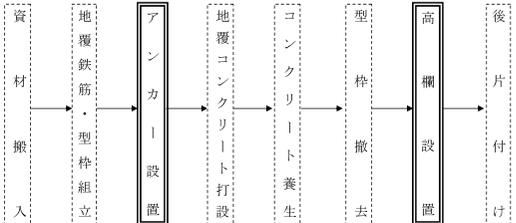
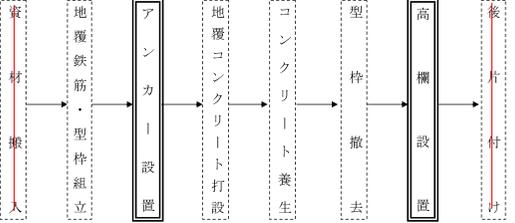
改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考																																																																																																				
	<p>現 行</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 地先境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td rowspan="2">K 1</td> <td>小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.09m³ (平積 0.07m³) 吊能力 0.9t</td> <td>・貨料 ・ブロック規格⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.15m³ (平積 0.35m³) 吊能力 2.9t</td> <td>・貨料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・貨料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R 4</td> <td>型わく工</td> <td>・均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td>・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>地先境界ブロック A種(120×120×600)</td> <td rowspan="3">設置の場合</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック B種(150×120×600)</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック C種(150×150×600)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ブロック規格は、以下のとおりとする。 ①：A種(120×120×600) ②：B種(150×120×600) ③：C種(150×150×600) ④：各種(600mm以下、50kg未満) ⑤：各種(600mm以下、50kg以上100kg未満) ⑥：各種(600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満) ⑦：各種(1000mm超2000mm以下、150kg以上550kg未満)</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.09m ³ (平積 0.07m ³) 吊能力 0.9t	・貨料 ・ブロック規格⑤⑥の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.15m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t	・貨料 ・ブロック規格⑦の場合	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・貨料 ・基礎砕石有りの場合	K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合	運転手(特殊)	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合	地先境界ブロック B種(150×120×600)	地先境界ブロック C種(150×150×600)	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	市場単価	S	—		<p>改 正</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 地先境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td rowspan="2">K 1</td> <td>小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.09m³ (平積 0.07m³) 吊能力 0.9t</td> <td>・貨料 ・ブロック規格⑤⑥の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値(2014年規制))] 山積 0.150.28m³ (平積 0.350.20m³) 吊能力 2.91.7t</td> <td>・貨料 ・ブロック規格⑦の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・貨料 ・基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R 4</td> <td>型わく工</td> <td>・均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td>・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td rowspan="3">Z 1</td> <td>地先境界ブロック A種(120×120×600)</td> <td rowspan="3">設置の場合</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック B種(150×120×600)</td> </tr> <tr> <td>地先境界ブロック C種(150×150×600)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>基礎砕石有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>軽油 バトロール給油</td> <td>ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.09m ³ (平積 0.07m ³) 吊能力 0.9t	・貨料 ・ブロック規格⑤⑥の場合	バックホウ(クローラ型) [標準超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値(2014年規制))] 山積 0.15 0.28m ³ (平積 0.35 0.20m ³) 吊能力 2.9 1.7t	・貨料 ・ブロック規格⑦の場合	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・貨料 ・基礎砕石有りの場合	K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合	運転手(特殊)	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合	材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合	地先境界ブロック B種(150×120×600)	地先境界ブロック C種(150×150×600)	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合	Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く	市場単価	S	—		<p>備 考</p> <p>記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																				
機械	K 1	小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.09m ³ (平積 0.07m ³) 吊能力 0.9t	・貨料 ・ブロック規格⑤⑥の場合																																																																																																				
		バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.15m ³ (平積 0.35m ³) 吊能力 2.9t	・貨料 ・ブロック規格⑦の場合																																																																																																				
	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・貨料 ・基礎砕石有りの場合																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	特殊作業員																																																																																																					
	R 3	土木一般世話役																																																																																																					
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																																				
運転手(特殊)		・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																																																																																																					
材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合																																																																																																				
		地先境界ブロック B種(150×120×600)																																																																																																					
		地先境界ブロック C種(150×150×600)																																																																																																					
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																																				
	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																																																				
Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																					
項目	代表機材規格		備考																																																																																																				
機械	K 1	小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.09m ³ (平積 0.07m ³) 吊能力 0.9t	・貨料 ・ブロック規格⑤⑥の場合																																																																																																				
		バックホウ(クローラ型) [標準超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第2次基準値(2014年規制))] 山積 0.15 0.28m ³ (平積 0.35 0.20m ³) 吊能力 2.9 1.7t	・貨料 ・ブロック規格⑦の場合																																																																																																				
	K 2	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(2014年規制)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・貨料 ・基礎砕石有りの場合																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	特殊作業員																																																																																																					
	R 3	土木一般世話役																																																																																																					
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																																				
運転手(特殊)		・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で、基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合																																																																																																					
材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合																																																																																																				
		地先境界ブロック B種(150×120×600)																																																																																																					
		地先境界ブロック C種(150×150×600)																																																																																																					
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																																				
	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合																																																																																																				
Z 4	軽油 バトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/3																																																																																																				

工 種	路側工(取外し)
-----	----------

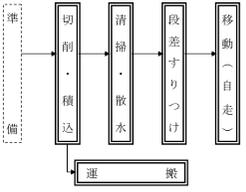
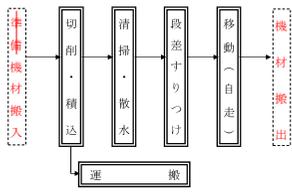
改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考			
現	行	改	正			
	<p>③-2 路側工(取外し)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの取外し作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 処分又は再利用を目的としたブロック(長さ800mm/個以下、質量105kg/個未満)の撤去の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. ブロック、モルタル処分費及び現場搬出の費用は、別途計上する。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位:m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">再利用区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">処分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">再利用</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック又は地先境界ブロックの撤去、敷モルタル・目地モルタルの取外し、集積、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 施工数量は直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗り入れ、すりつけ用ブロックを含んだ施工延長である。 3. 基礎コンクリートのとりこわしは、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-2-③-8</p>	再利用区分	処分	再利用	<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. ブロック、モルタル処分費及び現場搬出の費用は、別途計上する。</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p> <p>記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)</p>
再利用区分						
処分						
再利用						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1			

工 種	橋梁付属施設設置工
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改	正
<p>⑥ 橋梁付属施設設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる橋梁付属施設設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 排水柵 (1) 橋梁、シェッドの排水柵 (110 kg/個以下) を設置する場合</p> <p>1-1-2 橋名板等取付 (1) 高欄、橋桁及び橋台・橋脚に橋名板 (橋歴板) (300 mm×800 mm以下) を設置する場合</p> <p>1-1-3 橋梁用高欄 (1) 橋梁用高欄 (橋梁に設置する高欄 (歩行者自転車用柵), 車両用防護柵及び高欄兼用車両用防護柵) を設置する場合 (2) 橋梁用高欄の材質が鋼製・ダクタイル製・アルミ製の場合 (3) 基礎方式がベースプレート式の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 排水柵 (1) 鋼床版を同時に施工する場合</p> <p>1-2-2 橋梁用高欄 (1) 橋梁用ガードレール高欄を設置する場合 (2) 側道橋用高欄を設置する場合 (3) 既設地覆を削孔してアンカーを設置する場合 (4) 再利用設置の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 排水柵</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">IV-2-⑥-1</p>		<p>現行どおり</p> <p>削除</p>	<p>記載の変更</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2

改正理由	一部改正	改正 現行					
現 行	改 正		備 考				
<p>(2) 橋名板等取付</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>(3) 橋梁用高欄</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 排水溝 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 排水溝 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1" data-bbox="436 1077 739 1157"> <tr><td>排水溝の種類</td></tr> <tr><td>排水溝A</td></tr> <tr><td>排水溝B 20kg/個未満</td></tr> <tr><td>排水溝B 20kg/個以上 110kg/個以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 橋梁、シェッドの排水溝の設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等含む）を含む。 2. 排水溝Aは、繊維強化プラスチック（FRP）製とする。 3. 排水溝Bは、FRP製以外（普通鋼鉄（おずみ鋼鉄）製等とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-2-⑥-2</p>	排水溝の種類	排水溝A	排水溝B 20kg/個未満	排水溝B 20kg/個以上 110kg/個以下	<p style="text-align: center;">削除</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p style="text-align: center;">記載の変更</p>
排水溝の種類							
排水溝A							
排水溝B 20kg/個未満							
排水溝B 20kg/個以上 110kg/個以下							
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2				

工 種	路面切削工
-----	-------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">第 3 章 道路維持修繕工</p> <p>① 路面切削工</p> <p>①-1 路面切削工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 路面切削</p> <p>(1) 路面切削機によるアスファルト舗装の切削作業で平均切削深さ 12cm 以下の場合</p> <p>1-1-2 段運搬（路面切削）</p> <p>(1) 路面切削作業で発生したアスファルト段の運搬</p> <p>1-2 適用出来ない範囲（以下のいずれかの条件に該当する場合）</p> <p>1-2-1 路面切削</p> <p>(1) 複数の路面切削機による並列切削作業</p> <p>(2) 特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削作業</p> <p>(3) 道路打換え工のための舗装版とりこわし</p> <p>(4) 帯状切削作業に段差すりつけを含む場合</p> <p>1-2-2 段運搬（路面切削）</p> <p>(1) 段差すりつけの撤去後に発生した段運搬</p> <p>(2) 舗装版撤除工に伴い発生したコンクリート段又はアスファルト段の運搬</p> <p>(3) 運搬距離が 60m を超える場合</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-①-1</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																									
	現 行	改 正	備 考																																									
	<p>①-2 切削オーバーレイ工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から概ね切削した舗装厚分を即日で急進施工する作業に適用する。 切削作業は、ストレートアスファルト、改質アスファルトとする。 アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削作業 ・平均切削深さが12cmを超えるもの ・橋面防水工を同時に施工する場合の橋面舗装 ・排水性舗装 ・シクリフト工法 ・QR P工法等 ・路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわし</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種選定 切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td>路面切削機</td> <td>ホイール式・廃材積込装置付・排ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>オンロード・ディーゼル 10t積載</td> <td>台</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m³</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>ホイール型・排ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.5~6.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合材締め</td> <td>ロードローラ</td> <td>マカダム・排ガス対策型(第2次基準値) 運転重量10t 締め幅2.1m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>普通型・排ガス対策型(第2次基準値) 運転重量2~20t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) タイヤローラは、賃料とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-①-7</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	路面切削	路面切削機	ホイール式・廃材積込装置付・排ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm	台	1		廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積載	台	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m³	台	1		合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	ホイール型・排ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.5~6.0m	台	1		合材締め	ロードローラ	マカダム・排ガス対策型(第2次基準値) 運転重量10t 締め幅2.1m	台	1		タイヤローラ	普通型・排ガス対策型(第2次基準値) 運転重量2~20t	台	1		<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																																							
路面切削	路面切削機	ホイール式・廃材積込装置付・排ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm	台	1																																								
廃材運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 10t積載	台	必要数																																								
路面清掃	路面清掃車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホッパ容量1.5m³	台	1																																								
合材敷均し	アスファルトフィニッシャ	ホイール型・排ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.5~6.0m	台	1																																								
合材締め	ロードローラ	マカダム・排ガス対策型(第2次基準値) 運転重量10t 締め幅2.1m	台	1																																								
	タイヤローラ	普通型・排ガス対策型(第2次基準値) 運転重量2~20t	台	1																																								
積算上の注意事項			(控え頁) 1/4																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																					
	現 行	改 正	備 考																																					
	<p>4. 編 成 人 員 切削オーバーレイ工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 日当り施工量 切削オーバーレイ工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">平均切削深さ</td> <td style="text-align: center;">7cm以下</td> <td style="text-align: center;">7cmを超え12cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">即日舗設</td> <td style="text-align: center;">一層</td> <td style="text-align: center;">910</td> <td style="text-align: center;">800</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二層</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">630</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表には、施工箇所間及び機械待避場所と施工箇所間の自走による移動を含むが、運搬車両による移動は別途計上する。 2. 多層舗設の場合で、他日に表層のみを施工する場合の表層は、別途計上する。 3. 上表には清掃作業を含む。 4. 平均切削深さは、次式を標準とする。 $H = \frac{Av}{W} \times 100$ H：1現場の平均切削深さ (cm) Av：1現場の平均切削断面積 (m²) W：平均切削幅員 (m)</p> <p>5-2 廃材運搬工 廃材運搬工は、「第IV編第3章①-1路面切削工.3-2搬運搬 (路面切削)」による。</p> <p>5-3 舗装工材料 (1) アスファルト混合物のロス率 (K) は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td style="text-align: center;">歩車道区分</td> <td style="text-align: center;">ロ ス 率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ア ス フ ァ ル ト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">車 道 及 び 路 肩</td> <td style="text-align: center;">+0.07</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歩 道</td> <td style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ア ス カ ー プ</td> <td style="text-align: center;">+0.09</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ロス率は、材料ロスに対する材料補正である。 2. すりつけに使用する混合物は、ロス率に含まないので別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-①-8</p>	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1	3	5	平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下	即日舗設	一層	910	800	二層	—	630	種 別	歩車道区分	ロ ス 率	ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車 道 及 び 路 肩	+0.07	歩 道	+0.10	ア ス カ ー プ	+0.09	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2. 多層舗設の場合で、他日に表層のみを施工する場合の表層は、「第IV編第1章舗装工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">種 別</td> <td style="text-align: center;">歩車道区分</td> <td style="text-align: center;">ロ ス 率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ア ス フ ァ ル ト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">車 道 及 び 路 肩</td> <td style="text-align: center;">+0.07</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歩 道</td> <td style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ア ス カ ー プ</td> <td style="text-align: center;">+0.09</td> </tr> </table>	種 別	歩車道区分	ロ ス 率	ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車 道 及 び 路 肩	+0.07	歩 道	+0.10	ア ス カ ー プ	+0.09	<p style="text-align: center;">記載の変更</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																						
1	3	5																																						
平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下																																					
即日舗設	一層	910	800																																					
	二層	—	630																																					
種 別	歩車道区分	ロ ス 率																																						
ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車 道 及 び 路 肩	+0.07																																						
	歩 道	+0.10																																						
	ア ス カ ー プ	+0.09																																						
種 別	歩車道区分	ロ ス 率																																						
ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車 道 及 び 路 肩	+0.07																																						
	歩 道	+0.10																																						
	ア ス カ ー プ	+0.09																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 2/4																																					

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																						
現 行		改 正																																																																						
<p>(2) アスファルト混合物の締固め後密度は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 アスファルト混合物の締固め後密度 (t/m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">車道及び路肩</th> <th style="text-align: center;">歩 道</th> <th style="text-align: center;">アスカープ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粗粒度及び密粒度アスファルト混合物</td> <td style="text-align: center;">2.35</td> <td style="text-align: center;">2.20</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>細 粒 度 アスファルト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">2.30</td> <td style="text-align: center;">2.15</td> <td style="text-align: center;">2.10</td> </tr> <tr> <td>開 粒 度 アスファルト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">1.94</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材</td> <td style="text-align: center;">2.35</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 密粒度アスファルト混合物及び細粒度アスファルト混合物には、それぞれギャップアスファルト混合物を含む</p> <p>(3) 瀝青材料の散布量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 瀝青材料の散布量 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 別</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タ ッ ク コ ー ト</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">43</td> </tr> <tr> <td>プ ラ イ ム コ ー ト</td> <td style="text-align: center;">t</td> <td style="text-align: center;">126</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 基層にグースアスファルト混合物を使用する場合の瀝青材料は、タックコート（ゴム入り）を使用する。 2. 上記の散布量には、材料ロス分を含む。</p> <p>6. 諸 雑 費</p> <p>諸雑費は、切削作業に使用する雑器具（スコップ、ホウキ等）の費用、路面切削機のビットの損耗費、路面清掃車のブラシの損耗費、瀝青材料の散布費用、鋪装用器具及び加熱燃料等の費用、切削に伴う段差すりつけ設置、撤去にかかる費用（必要な場合）であり、労務費と組合せ機械（路面切削機、路面清掃車、アスファルトフィニッシャ、ロードローラ、タイヤローラ）の機械損料・賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">平均切削深さ</th> <th style="text-align: center;">7cm以下</th> <th style="text-align: center;">7cmを超え12cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">即 日 補 設</td> <td style="text-align: center;">一層</td> <td style="text-align: center;">14 (設置のみ18, 設置撤去19)</td> <td style="text-align: center;">16 (設置のみ20, 設置撤去21)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二層</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 実数の率は、段差すりつけの必要がない場合に計上し、() 内の率は、段差すりつけが必要な場合に計上する。なお、段差すりつけの撤去後に発生した廢材の運搬・処理等に要する費用は、「第II編 第2章(5)設備」により別途計上すること。</p>		区 分	車道及び路肩	歩 道	アスカープ	アスファルト混合物				粗粒度及び密粒度アスファルト混合物	2.35	2.20	—	細 粒 度 アスファルト 混 合 物	2.30	2.15	2.10	開 粒 度 アスファルト 混 合 物	1.94	—	—	瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材	2.35	—	—	種 別	単 位	数 量	タ ッ ク コ ー ト	t	43	プ ラ イ ム コ ー ト	t	126	平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下	即 日 補 設	一層	14 (設置のみ18, 設置撤去19)	16 (設置のみ20, 設置撤去21)	二層	—	15	<p>(2) アスファルト混合物の締固め後密度は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 アスファルト混合物の締固め後密度 (t/m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">車道及び路肩</th> <th style="text-align: center;">歩 道</th> <th style="text-align: center;">アスカープ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>粗粒度及び密粒度アスファルト混合物</td> <td style="text-align: center;">2.35</td> <td style="text-align: center;">2.20</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>細 粒 度 アスファルト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">2.30</td> <td style="text-align: center;">2.15</td> <td style="text-align: center;">2.10</td> </tr> <tr> <td>開 粒 度 アスファルト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">1.94</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材</td> <td style="text-align: center;">2.35</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		区 分	車道及び路肩	歩 道	アスカープ	アスファルト混合物				粗粒度及び密粒度アスファルト混合物	2.35	2.20	—	細 粒 度 アスファルト 混 合 物	2.30	2.15	2.10	開 粒 度 アスファルト 混 合 物	1.94	—	—	瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材	2.35	—	—	備 考
区 分	車道及び路肩	歩 道	アスカープ																																																																					
アスファルト混合物																																																																								
粗粒度及び密粒度アスファルト混合物	2.35	2.20	—																																																																					
細 粒 度 アスファルト 混 合 物	2.30	2.15	2.10																																																																					
開 粒 度 アスファルト 混 合 物	1.94	—	—																																																																					
瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材	2.35	—	—																																																																					
種 別	単 位	数 量																																																																						
タ ッ ク コ ー ト	t	43																																																																						
プ ラ イ ム コ ー ト	t	126																																																																						
平均切削深さ		7cm以下	7cmを超え12cm以下																																																																					
即 日 補 設	一層	14 (設置のみ18, 設置撤去19)	16 (設置のみ20, 設置撤去21)																																																																					
	二層	—	15																																																																					
区 分	車道及び路肩	歩 道	アスカープ																																																																					
アスファルト混合物																																																																								
粗粒度及び密粒度アスファルト混合物	2.35	2.20	—																																																																					
細 粒 度 アスファルト 混 合 物	2.30	2.15	2.10																																																																					
開 粒 度 アスファルト 混 合 物	1.94	—	—																																																																					
瀝 青 安 定 処 理 路 盤 材	2.35	—	—																																																																					
積算上の注意事項																																																																								
		(控え頁) 3/4																																																																						

工 種	切削オーバーレイ工
-----	-----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																			
	現 行	改 正																																																																																																																																				
	<p>7. 単 価 表</p> <p>(1) 切削オーバーレイ100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">施工歩掛コード</th> <th style="text-align: center;">WB430210</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名 称</td> <td>規 格</td> <td>単 位</td> <td>数 量</td> </tr> <tr> <td>主 木 一 般 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>3×100/D</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>5×100/D</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>(注) 1. 表5.2</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 材 料</td> <td></td> <td>t</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>路面切削機運転</td> <td>ホイール式・廃材種込装置付・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm</td> <td>日</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>路面清掃車運転</td> <td>ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホップ容量1.5m³</td> <td>"</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>アスファルト フィニッシュヤ運転</td> <td>ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3~6.0m</td> <td>"</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m</td> <td>"</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8~20t</td> <td>"</td> <td>100/D</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 100×厚さ(m)×締固め後密度(t/m³)×(1+K) 2. D: 日当り施工量(m²/日)</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">適用単価表</th> <th rowspan="2">指 定 事 項</th> <th colspan="3">7cm以下</th> </tr> <tr> <th>一層舗設</th> <th>二層舗設</th> <th>二層舗設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">路 面 切 削 機</td> <td rowspan="3">ホイール式・廃材種込装置付・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td rowspan="3">運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>0.95</td> </tr> <tr> <td>235</td> <td>248</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>1.31</td> <td>1.26</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">路 面 清 掃 車</td> <td rowspan="3">ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ ホップ容量1.5m³</td> <td rowspan="3">機-19</td> <td rowspan="3">運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>0.98</td> <td>0.96</td> <td>0.74</td> </tr> <tr> <td>43</td> <td>42</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>1.31</td> <td>1.26</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">アスファルト フィニッシュヤ</td> <td rowspan="3">ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3~6.0m</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td rowspan="3">運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>53</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>1.39</td> <td>1.18</td> <td>1.22</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ロードローラ</td> <td rowspan="3">マカダム・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m</td> <td rowspan="3">機-18</td> <td rowspan="3">運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>1.39</td> <td>1.18</td> <td>1.22</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タイヤローラ</td> <td rowspan="3">普通型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8~20t</td> <td rowspan="3">機-28</td> <td rowspan="3">運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>39</td> <td>27</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>1.16</td> <td>1.00</td> <td>1.30</td> </tr> </tbody> </table>			施工歩掛コード	WB430210	名 称	規 格	単 位	数 量	主 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D	特 殊 作 業 員		"	3×100/D	普 通 作 業 員		"	5×100/D	アスファルト混合物		t	(注) 1. 表5.2	瀝 青 材 料		t	表5.4	路面切削機運転	ホイール式・廃材種込装置付・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm	日	100/D	路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホップ容量1.5m ³	"	100/D	アスファルト フィニッシュヤ運転	ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3~6.0m	"	100/D	ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m	"	100/D	タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8~20t	"	100/D	諸 雑 費		式	1	計				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	7cm以下			一層舗設	二層舗設	二層舗設	路 面 切 削 機	ホイール式・廃材種込装置付・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	0.95	235	248	166	1.31	1.26	1.00	路 面 清 掃 車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ ホップ容量1.5m ³	機-19	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.98	0.96	0.74	43	42	32	1.31	1.26	1.00	アスファルト フィニッシュヤ	ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3~6.0m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	1.00	48	53	42	1.39	1.18	1.22	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	1.00	27	28	18	1.39	1.18	1.22	タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8~20t	機-28	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	1.00	39	27	29	1.16	1.00	1.30	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の変更</p>
		施工歩掛コード	WB430210																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																			
主 木 一 般 世 話 役		人	1×100/D																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		"	3×100/D																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		"	5×100/D																																																																																																																																			
アスファルト混合物		t	(注) 1. 表5.2																																																																																																																																			
瀝 青 材 料		t	表5.4																																																																																																																																			
路面切削機運転	ホイール式・廃材種込装置付・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm	日	100/D																																																																																																																																			
路面清掃車運転	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ホップ容量1.5m ³	"	100/D																																																																																																																																			
アスファルト フィニッシュヤ運転	ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3~6.0m	"	100/D																																																																																																																																			
ロードローラ運転	マカダム・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m	"	100/D																																																																																																																																			
タイヤローラ運転	普通型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8~20t	"	100/D																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																			
計																																																																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	7cm以下																																																																																																																																		
				一層舗設	二層舗設	二層舗設																																																																																																																																
路 面 切 削 機	ホイール式・廃材種込装置付・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 切削幅2.0m×深さ23cm	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	0.95																																																																																																																																
				235	248	166																																																																																																																																
				1.31	1.26	1.00																																																																																																																																
路 面 清 掃 車	ブラシ・四輪式 路面切削工専用・ ホップ容量1.5m ³	機-19	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.98	0.96	0.74																																																																																																																																
				43	42	32																																																																																																																																
				1.31	1.26	1.00																																																																																																																																
アスファルト フィニッシュヤ	ホイール型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 舗装幅2.3~6.0m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																
				48	53	42																																																																																																																																
				1.39	1.18	1.22																																																																																																																																
ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量10t 締固め幅2.1m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																
				27	28	18																																																																																																																																
				1.39	1.18	1.22																																																																																																																																
タイヤローラ	普通型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 運転質量8~20t	機-28	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00	1.00	1.00																																																																																																																																
				39	27	29																																																																																																																																
				1.16	1.00	1.30																																																																																																																																
積算上の注意事項	IV-3-①-10		(控え頁) 4/4																																																																																																																																			

工 種	舗装版破砕工
-----	--------

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考
	現 行	改 正	備 考
	<p>② 舗装版破砕工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの作業に適用する。 なお、急速施工の場合は、「第IV編第3章③道路行換え工」によるものとし、路盤・路床の掘削は、「第II編第1章②土工」によるものとする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 機械によるコンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (2) 人力によるアスファルト舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (3) 人力による橋梁舗装版撤去の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 急速施工(舗装版とりこわしから舗装までを1日で完了する施工)、機械による橋梁舗装版撤去の場合 (2) 人力によるコンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (3) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版において、全体厚が45cmを超える場合又は舗装版厚のうちアスファルト層が占める割合が50%を超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 運輸は「第II編第2章⑧發運搬」による。 3. 舗装版切断は「第IV編第3章③ 舗装版切斷工」による。 4. 障害等の有無の「有り」とは、現場状況、作業量、障害物等により表3.2で想定する機械での施工が困難な場合をいう。 5. 騒音振動対策の「必要」とは、「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等の場合をいう。 6. 舗装版破砕：舗装版のみを破砕する作業。 掘削・積込：舗装版を破砕後、掘削し、積込む作業。 直接掘削・積込：直接舗装版を掘削し、積込む作業。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-②-1</p>	<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>	記載の変更
積算上の注意事項			(控え頁) 1/3

改正理由	一部改正	改正 現行																																																												
現	行	改	正																																																											
<p>3. 施工パッケージ 3-1 舗装版破砕 (1) 条件区分 舗装版破砕における条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>障害等の有無</th> <th>騒音振動対策</th> <th>舗装版厚</th> <th>Co+As(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚</th> <th>積込作業の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">アスファルト舗装版</td> <td rowspan="4">無し</td> <td rowspan="2">不要</td> <td>15cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え40cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">必要</td> <td>15cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え35cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="4">-</td> <td>4cm以下</td> <td>-</td> <td>有り 無し</td> </tr> <tr> <td>4cmを超え10cm以下</td> <td>-</td> <td>有り 無し</td> </tr> <tr> <td>10cmを超え15cm以下</td> <td>-</td> <td>有り 無し</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>-</td> <td>有り 無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート舗装版</td> <td rowspan="2">無し</td> <td rowspan="2">不要</td> <td>15cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え35cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">必要</td> <td>15cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え35cm以下</td> <td>-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版</td> <td>無し</td> <td>不要</td> <td>15cm以上35cm以下</td> <td>15cm以下 15cmを超え22.5cm以下</td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、舗装版とりこわし・掘削・積込みの他、大型ブレーカのチゼル消耗費(大型ブレーカによる破砕の場合)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 障害等の有無の「有り」とは、現場状況、作業量、障害物等により表3.2で想定する機械での施工が困難な場合をいう。 3. 破砕対象となるアスファルト舗装版の幅が1m以内の場合、障害等「有り」とする。 4. 舗装版切断は含まない。 5. 搬運機、最処分は含まない。 6. 「コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版」の舗装版厚はコンクリート舗装部分の厚さをいう。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-②-2</p>		舗装版種別	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	Co+As(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚	積込作業の有無	アスファルト舗装版	無し	不要	15cm以下	-	有り	15cmを超え40cm以下	-	有り	必要	15cm以下	-	有り	15cmを超え35cm以下	-	有り	有り	-	4cm以下	-	有り 無し	4cmを超え10cm以下	-	有り 無し	10cmを超え15cm以下	-	有り 無し	15cmを超え30cm以下	-	有り 無し	コンクリート舗装版	無し	不要	15cm以下	-	有り	15cmを超え35cm以下	-	有り	必要	15cm以下	-	有り	15cmを超え35cm以下	-	有り	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	無し	不要	15cm以上35cm以下	15cm以下 15cmを超え22.5cm以下	有り	<p>現行どおり</p>		備考
舗装版種別	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	Co+As(カバー)舗装によるアスファルト舗装版厚	積込作業の有無																																																									
アスファルト舗装版	無し	不要	15cm以下	-	有り																																																									
			15cmを超え40cm以下	-	有り																																																									
		必要	15cm以下	-	有り																																																									
			15cmを超え35cm以下	-	有り																																																									
	有り	-	4cm以下	-	有り 無し																																																									
			4cmを超え10cm以下	-	有り 無し																																																									
			10cmを超え15cm以下	-	有り 無し																																																									
			15cmを超え30cm以下	-	有り 無し																																																									
コンクリート舗装版	無し	不要	15cm以下	-	有り																																																									
			15cmを超え35cm以下	-	有り																																																									
	必要	15cm以下	-	有り																																																										
		15cmを超え35cm以下	-	有り																																																										
コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	無し	不要	15cm以上35cm以下	15cm以下 15cmを超え22.5cm以下	有り																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 2/3																																																											

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

7. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲外の地域となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、舗装版厚さに関わらず、下記を選択することが出来る。
 ・騒音振動対策「必要」(コンクリート圧砕装置による破砕)
 ・騒音振動対策「不要」、かつ舗装版厚「15cm以下」(バックホウによる直接掘削・積込)

工 種	舗装版破砕工
-----	--------

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表3.2 舗装版破砕 代表機材規格一覧

障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考	
無し	不要	15cm 以下	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	
				K2		
				K3		
			労務	R1 土木一般世話役		
				R2 運転手(特殊)		
				R3 普通作業員		
			材料	Z1 軽油 バトルール給油		
				Z2		
				Z3		
			市場単価	Z4		
				S		
	必要	-	15cm 超	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料
					K2 大型ブレード(ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 800~800kg 級	
					K3	
				労務	R1 運転手(特殊)	
					R2 普通作業員	
					R3 土木一般世話役	
				材料	Z1 軽油 バトルール給油	
					Z2	
					Z3	
				市場単価	Z4	
					S	
有り	-	-	機械	K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーム型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 3.5~3.7m ³ /min	賃料	
				K2 さく岩機(コンクリートブレード) 20kg 級		
				K3		
			労務	R1 特殊作業員		
				R2 普通作業員		
				R3		
			材料	Z1 軽油 バトルール給油		
				Z2		
				Z3		
			市場単価	Z4		
				S		

(2) 代表機材規格
下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

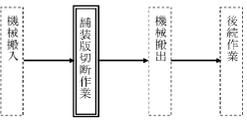
表3.2 舗装版破砕 代表機材規格一覧

障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考	
無し	不要	15cm 以下	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料	
				K2		
				K3		
			労務	R1 土木一般世話役		
				R2 運転手(特殊)		
				R3 普通作業員		
			材料	Z1 軽油 バトルール給油		
				Z2		
				Z3		
			市場単価	Z4		
				S		
	必要	-	15cm 超	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型]・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	賃料
					K2 大型ブレード(ベースマシン含まず) [油圧式] 質量 800~800kg 級 [油圧ブレード] バケット容量 0.4m ³ アタッチメントのみ	賃料
					K3	
				労務	R1 運転手(特殊)	
					R2 普通作業員	
					R3 土木一般世話役	
				材料	Z1 軽油 バトルール給油	
					Z2	
					Z3	
				市場単価	Z4	
					S	
有り	-	-	機械	K1 空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリーム型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第4次基準値) 2011年規制] 3.5~3.7m ³ /min	賃料	
				K2 さく岩機(コンクリートブレード) 20kg 級		
				K3		
			労務	R1 特殊作業員		
				R2 普通作業員		
				R3		
			材料	Z1 軽油 バトルール給油		
				Z2		
				Z3		
			市場単価	Z4		
				S		

記載の修正・削除(歩掛改定に伴う)

IV-3-②-3

積算上の注意事項		(控え頁)	3/3
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																
現	行	改 正	備 考																																
<p>③ 舗装版切断工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版における舗装版切断に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト舗装版厚が40cm以下の場合 (2) コンクリート舗装版厚が30cm以下の場合 (3) 重複舗装版（コンクリート+アスファルト（カバー）厚が40cm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50%を超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 舗装版切断 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版切断 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>アスファルト舗装版厚</th> <th>コンクリート舗装版厚</th> <th>コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の全体厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">アスファルト舗装版</td> <td>15cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>30cmを超え40cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装版</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2">15cm以下</td> <td>15cm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cmを超え30cm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="2">15cmを超え30cm以下</td> <td>15cmを超え30cm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>30cmを超え40cm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、舗装版切断、水タンク等の運搬、濁水の収集、マーキング、切断補助、路面清掃、プレート損耗費、水タンク、汚水タンク、ホース、ほうき等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 舗装版種別でコンクリート+アスファルト（カバー）舗装版を選択した場合、コンクリート舗装版厚の選択は、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版のうちのコンクリート舗装版のみの厚さとする。 3. 舗装版切断時に発生する濁水処理費および濁水処理に運搬が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-③-1</p>		舗装版種別	アスファルト舗装版厚	コンクリート舗装版厚	コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の全体厚	アスファルト舗装版	15cm以下	—	—	15cmを超え30cm以下	—	—	30cmを超え40cm以下	—	—	コンクリート舗装版	—	15cm以下	—	—	15cmを超え30cm以下	—	コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版	—	15cm以下	15cm以下	—	15cmを超え30cm以下	—	15cmを超え30cm以下	15cmを超え30cm以下	—	30cmを超え40cm以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>記載の修正・削除（歩掛改定に伴う）</p>
舗装版種別	アスファルト舗装版厚	コンクリート舗装版厚	コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の全体厚																																
アスファルト舗装版	15cm以下	—	—																																
	15cmを超え30cm以下	—	—																																
	30cmを超え40cm以下	—	—																																
コンクリート舗装版	—	15cm以下	—																																
	—	15cmを超え30cm以下	—																																
コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版	—	15cm以下	15cm以下																																
	—		15cmを超え30cm以下																																
	—	15cmを超え30cm以下	15cmを超え30cm以下																																
	—		30cmを超え40cm以下																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																

工 種	舗装版切断工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正	
		現 行	

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(2) 代表機材規格
下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。

表3.2 舗装版切断 代表機材材規格一覧

舗装版種別	項目	代表機材材規格	備考	
アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカット [バキューム式・湿式] 切削深 20 c m級 ブレード径φ56 c m	舗装版厚が 15cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 ブレード径φ75 c m	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 ブレード径φ96 c m	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
		—	—	
	労務	R1	特殊作業員	—
		R2	土木一般世話役	—
		R3	普通作業員	—
		R4	—	—
	コンクリート 舗装版	材料	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合
			ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm 以下の場合
		Z1	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合
コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ			舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ			舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
Z4	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		
S	コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合		
市場 価値	S	—	—	
コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	コンクリートカット [バキューム式・湿式] 切削深 20 c m級 ブレード径φ56 c m	全体厚が 15cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 ブレード径φ75 c m	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 ブレード径φ96 c m	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
		—	—	
	労務	R1	特殊作業員	—
		R2	土木一般世話役	—
		R3	普通作業員	—
		R4	—	—
	Z1	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15cm 以下の場合	
		コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
		コンクリートカット (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
		ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15cm 以下の場合	
		Z2	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合
コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ			全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ			全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
Z4	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		
S	コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合		
市場 価値	S	—	—	

II-1-③-2

(2) 代表機材規格
下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。

表3.2 舗装版切断 代表機材材規格一覧

舗装版種別	項目	代表機材材規格	備考	
アスファルト 舗装版	機械	コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 20 c m級 ブレード径φ56 c m	舗装版厚が 15cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 ブレード径φ75 c m	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 ブレード径φ96 c m	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
		—	—	
	労務	R1	特殊作業員	—
		R2	土木一般世話役	—
		R3	普通作業員	—
		R4	—	—
	コンクリート 舗装版	材料	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 38 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合
			ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm 以下の場合
		Z1	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合
コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ			舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ			舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
Z4	ガソリン レギュラー スタンド	舗装版厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		
S	コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ	舗装版厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合		
市場 価値	S	—	—	
コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 20 c m級 ブレード径φ56 c m	全体厚が 15cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 30 c m級 ブレード径φ75 c m	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
		コンクリートカット [バキューム式・湿式] 超低騒音型 切削深 40 c m級 ブレード径φ96 c m	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
		—	—	
	労務	R1	特殊作業員	—
		R2	土木一般世話役	—
		R3	普通作業員	—
		R4	—	—
	Z1	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15cm 以下の場合	
		コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
		コンクリートカット (ブレード) 径 38 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
		ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15cm 以下の場合	
		Z2	コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合
			コンクリートカット (ブレード) 径 30 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合
コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ			全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合	
コンクリートカット (ブレード) 径 22 インチ			全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合	
Z4	ガソリン レギュラー スタンド	全体厚が 15cm を超え 30cm 以下の場合		
S	コンクリートカット (ブレード) 径 14 インチ	全体厚が 30cm を超え 40cm 以下の場合		
市場 価値	S	—	—	

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																										
	<p>現 行</p> <p>3-2 工法の選定 急速施工で行う現道打換え工事で、日当り平均作業量が50㎡未満の作業に適用する。</p> <p style="text-align: center;">急速施工による現道打換え工事</p> <p>(注) 路床面の整正作業は、「掘削積込」の中に含まれているが、舗装版のみを打換える場合の不陸整正は、「不陸整正」を別途計上する。</p> <p>4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1"> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>特殊作業員</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>5. 施 工 歩 掛 5-1 施工機械の運転時間 100㎡当りの機械の運転時間は、次表を標準とする。 (1) とりこわし</p> <p style="text-align: center;">表5.1 とりこわし時間 (h/100㎡)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械</th> <th colspan="3">舗装版厚さ</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>15cm以下</th> <th>15cmを超え 30cm以下</th> <th>30cmを超え 40cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによるとりこわし</td> <td>掘削積込に含む</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕装置によるとりこわし</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>T₀</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">IV-3-④-1</p>	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1	3	4	使用機械	舗装版厚さ			記号	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下	バックホウによるとりこわし	掘削積込に含む	—	—	—	大型ブレーカによるとりこわし	—	—	—	—	コンクリート圧砕装置によるとりこわし	1.1	1.3	1.7	T ₀	<p>改 正</p> <p>3-2 工法の選定 急速施工で行う現道打換え工事で、日当り平均作業量が50㎡未満の作業に適用する。</p> <p style="text-align: center;">急速施工による現道打換え工事</p> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1"> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>特殊作業員</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表5.1 とりこわし時間 (h/100㎡)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械及び作業内容</th> <th colspan="3">舗装版厚さ</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>15cm以下</th> <th>15cmを超え 30cm以下</th> <th>30cmを超え 40cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによるとりこわし</td> <td>掘削積込に含む</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕装置によるとりこわし</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>T₀</td> </tr> </tbody> </table>	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	1	3	4	使用機械及び作業内容	舗装版厚さ			記号	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下	バックホウによるとりこわし	掘削積込に含む	—	—	—	大型ブレーカによるとりこわし	—	—	—	—	コンクリート圧砕装置によるとりこわし	1.1	1.3	1.7	T ₀	<p>備 考</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																											
1	3	4																																																											
使用機械	舗装版厚さ			記号																																																									
	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下																																																										
バックホウによるとりこわし	掘削積込に含む	—	—	—																																																									
大型ブレーカによるとりこわし	—	—	—	—																																																									
コンクリート圧砕装置によるとりこわし	1.1	1.3	1.7	T ₀																																																									
土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																											
1	3	4																																																											
使用機械及び作業内容	舗装版厚さ			記号																																																									
	15cm以下	15cmを超え 30cm以下	30cmを超え 40cm以下																																																										
バックホウによるとりこわし	掘削積込に含む	—	—	—																																																									
大型ブレーカによるとりこわし	—	—	—	—																																																									
コンクリート圧砕装置によるとりこわし	1.1	1.3	1.7	T ₀																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 2/10																																																										

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																																																																				
	現 行	改 正																																																																																																					
	<p>(2) 掘削積込</p> <p style="text-align: center;">表5.2 掘削積込時間 (h/100m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械</th> <th colspan="3">舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>40cm以下</th> <th>40cmを超え80cm以下</th> <th>80cmを超え120cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込</td> <td>2.0</td> <td>3.3</td> <td>4.7</td> <td>T_n</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカとりこわし後のバックホウによる掘削積込</td> <td>2.1</td> <td>2.8</td> <td>3.5</td> <td>T_{nc}</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 路床及び路盤敷均し・転圧 (安定処理を含まず)</p> <p style="text-align: center;">表5.3 路床及び路盤の敷均し・転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械</th> <th colspan="2">総施工量</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>1,000m²未満</th> <th>1,000m²以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウによる敷均し</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td rowspan="3">T_b</td> </tr> <tr> <td>振動ローラによる転圧</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 安定処理は、(4)舗装(アスファルト層)で計上する。 2. 1層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。 3. 不陸修正は、掘削後の路床・路盤面の整正を目的とし、補足材の有無にかかわらず1層分計上する。</p> <p>(4) 舗装(アスファルト層・安定処理)敷均し・転圧</p> <p style="text-align: center;">表5.4 舗装敷均し・転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械</th> <th colspan="2">総施工量</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>1,000m²未満</th> <th>1,000m²以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャーによる敷均し</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> <td rowspan="3">T_p</td> </tr> <tr> <td>振動ローラによる転圧</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層を別途施工の場合は、「第IV編第1章②-1アスファルト舗装工」による。 2. 1層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。</p> <p>5-2 労務歩掛 道路打換え100m²当りの作業歩掛は、5-1の(1)~(4)において使用する主機械の時間で、次式による。 T' = { (T_n + T_{nc}) 又は T_n } + T_b × 層数 + T_p × 層数 × 0.66 (h/100m²) 0.66: 一連作業のための重複度</p>	使用機械	舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ			記号	40cm以下	40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下	バックホウによる直接掘削積込	2.0	3.3	4.7	T _n	大型ブレーカとりこわし後のバックホウによる掘削積込	2.1	2.8	3.5	T _{nc}	使用機械	総施工量		記号	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上	小型バックホウによる敷均し	0.7	0.6	T _b	振動ローラによる転圧	0.7	0.6	タイヤローラによる転圧	0.7	0.6	使用機械	総施工量		記号	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上	アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.9	0.6	T _p	振動ローラによる転圧	0.9	0.6	タイヤローラによる転圧	0.9	0.6	<p>(2) 掘削積込</p> <p style="text-align: center;">表5.2 掘削積込時間 (h/100m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械及び作業内容</th> <th colspan="3">舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>40cm以下</th> <th>40cmを超え80cm以下</th> <th>80cmを超え120cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込</td> <td>2.0</td> <td>3.3</td> <td>4.7</td> <td>T_n</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカとりこわし後のバックホウによる掘削積込</td> <td>2.1</td> <td>2.8</td> <td>3.5</td> <td>T_{nc}</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 路床及び路盤敷均し・転圧 (安定処理を含まず)</p> <p style="text-align: center;">表5.3 路床及び路盤の敷均し・転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械及び作業内容</th> <th colspan="2">総施工量</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>1,000m²未満</th> <th>1,000m²以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウによる敷均し</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td rowspan="3">T_b</td> </tr> <tr> <td>振動ローラによる転圧</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 安定処理は、(4)舗装(アスファルト層・安定処理)敷均し・転圧で計上する。 2. 1層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。 3. 不陸修正は、掘削後の路床・路盤面の整正を目的とし、補足材の有無にかかわらず1層分計上する。</p> <p>(4) 舗装(アスファルト層・安定処理)敷均し・転圧</p> <p style="text-align: center;">表5.4 舗装敷均し・転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械及び作業内容</th> <th colspan="2">総施工量</th> <th rowspan="2">記号</th> </tr> <tr> <th>1,000m²未満</th> <th>1,000m²以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャーによる敷均し</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> <td rowspan="3">T_p</td> </tr> <tr> <td>振動ローラによる転圧</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層を別途施工する場合は、「第IV編第1章②-1アスファルト舗装工」による。 2. 1層当りとは、敷均し、転圧層数をいう。</p> <p style="font-size: 2em; margin-left: 20px;">}</p> <p style="margin-left: 20px;">現行どおり</p>	使用機械及び作業内容	舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ			記号	40cm以下	40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下	バックホウによる直接掘削積込	2.0	3.3	4.7	T _n	大型ブレーカとりこわし後のバックホウによる掘削積込	2.1	2.8	3.5	T _{nc}	使用機械及び作業内容	総施工量		記号	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上	小型バックホウによる敷均し	0.7	0.6	T _b	振動ローラによる転圧	0.7	0.6	タイヤローラによる転圧	0.7	0.6	使用機械及び作業内容	総施工量		記号	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上	アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.9	0.6	T _p	振動ローラによる転圧	0.9	0.6	タイヤローラによる転圧	0.9	0.6	記載の変更
使用機械	舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ			記号																																																																																																			
	40cm以下	40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下																																																																																																				
バックホウによる直接掘削積込	2.0	3.3	4.7	T _n																																																																																																			
大型ブレーカとりこわし後のバックホウによる掘削積込	2.1	2.8	3.5	T _{nc}																																																																																																			
使用機械	総施工量		記号																																																																																																				
	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上																																																																																																					
小型バックホウによる敷均し	0.7	0.6	T _b																																																																																																				
振動ローラによる転圧	0.7	0.6																																																																																																					
タイヤローラによる転圧	0.7	0.6																																																																																																					
使用機械	総施工量		記号																																																																																																				
	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上																																																																																																					
アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.9	0.6	T _p																																																																																																				
振動ローラによる転圧	0.9	0.6																																																																																																					
タイヤローラによる転圧	0.9	0.6																																																																																																					
使用機械及び作業内容	舗装版厚+路盤及び路床の掘削深さ			記号																																																																																																			
	40cm以下	40cmを超え80cm以下	80cmを超え120cm以下																																																																																																				
バックホウによる直接掘削積込	2.0	3.3	4.7	T _n																																																																																																			
大型ブレーカとりこわし後のバックホウによる掘削積込	2.1	2.8	3.5	T _{nc}																																																																																																			
使用機械及び作業内容	総施工量		記号																																																																																																				
	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上																																																																																																					
小型バックホウによる敷均し	0.7	0.6	T _b																																																																																																				
振動ローラによる転圧	0.7	0.6																																																																																																					
タイヤローラによる転圧	0.7	0.6																																																																																																					
使用機械及び作業内容	総施工量		記号																																																																																																				
	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上																																																																																																					
アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.9	0.6	T _p																																																																																																				
振動ローラによる転圧	0.9	0.6																																																																																																					
タイヤローラによる転圧	0.9	0.6																																																																																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 3/10																																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																					
	現 行	改 正																																						
	<p>5-3 諸雑費 諸雑費は、運青材料費及び散布費用、加熱器具燃料費、チゼル損耗費（大型コンクリートブレーカのみ）、すりつけ作業等の費用であり、労務費、材料費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 諸雑费率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工範囲</th> <th colspan="2">すりつけ作業の計上</th> </tr> <tr> <th>有 り</th> <th>無 し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全層打換えの場合</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>舗装版のみの打換えの場合</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)「全層打換え」とは、下層路盤又は路床まで打換える場合とする。</p>	施工範囲	すりつけ作業の計上		有 り	無 し	全層打換えの場合	7	3	舗装版のみの打換えの場合	9	4	<p>5-4 道路打換え工事の運転日当り運転時間 運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 運転日当り運転時間(T)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th colspan="2">運 転 日 当 り 運 転 時 間 (T)</th> </tr> <tr> <th>全層打換えの場合</th> <th>舗装版のみの打換えの場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 型 ブ レ ー カ</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕装置</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)</td> <td>3.8</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ (グ ロ ニ ラ 型)</td> <td>3.2</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>4.6</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)</td> <td>4.6</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により、上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 運転時間Tは、運転労務算出に用いる。</p>	機 械 名	運 転 日 当 り 運 転 時 間 (T)		全層打換えの場合	舗装版のみの打換えの場合	大 型 ブ レ ー カ	1.8	1.9	コンクリート圧砕装置	1.8	1.9	バックホウ(クローラ型)	3.8	2.6	小 型 バ ッ ク ホ ウ (グ ロ ニ ラ 型)	3.2	2.3	タ イ ヤ ロ ー ラ	4.6	4.9	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)	4.6	4.8	アスファルトフィニッシャ	2.2	2.7	<p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p>
施工範囲	すりつけ作業の計上																																							
	有 り	無 し																																						
全層打換えの場合	7	3																																						
舗装版のみの打換えの場合	9	4																																						
機 械 名	運 転 日 当 り 運 転 時 間 (T)																																							
	全層打換えの場合	舗装版のみの打換えの場合																																						
大 型 ブ レ ー カ	1.8	1.9																																						
コンクリート圧砕装置	1.8	1.9																																						
バックホウ(クローラ型)	3.8	2.6																																						
小 型 バ ッ ク ホ ウ (グ ロ ニ ラ 型)	3.2	2.3																																						
タ イ ヤ ロ ー ラ	4.6	4.9																																						
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用)	4.6	4.8																																						
アスファルトフィニッシャ	2.2	2.7																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 4/10																																					

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																																						
	現 行	改 正																																																																																																																																																																							
	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕装置+機械施工100㎡当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備 考</th> <th colspan="5">施 工 歩 掛 コー ド</th> </tr> <tr> <th>011000</th> <th>011002</th> <th>011003</th> <th>011004</th> <th>011005</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>1×1/8×T' 表4.1.(注)1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>3×1/8×T' 表4.1.(注)1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>4×1/8×T' 表4.1.(注)1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>A</td> <td>100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A.(注)2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石</td> <td></td> <td>㎡</td> <td>B</td> <td>100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B.(注)2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td>C</td> <td>100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C.(注)3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_n/T 表5.1.(注)4 機械賃料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転</td> <td>標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_n/T 表5.1.(注)4 機械賃料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(小規模)]</td> <td>開口幅700mm 破砕力6000N</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_n/T 表5.1.(注)4 機械損料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転</td> <td>標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)</td> <td>日</td> <td></td> <td>(T_n又はT₀)/T 表5.2 機械賃料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転</td> <td>標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.09~0.11㎡(平積0.07 ~0.08㎡)</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_n×層数/T 表5.3 機械損料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運 転</td> <td>普通型・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準準) 運 転 質量8~20 t</td> <td>日</td> <td></td> <td>(T_n×層数+T_r×層数)/T 表5.3. 表5.4 機械賃料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転</td> <td>搭乗・コンバインド式・低騒 音型・ 排出ガス対策型(第2次基準 準) 運 転質量3~4t</td> <td>日</td> <td></td> <td>(T_n×層数+T_r×層数)/T 表5.3. 表5.4 機械賃料</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ア ス フ ァ ル ト フ イ ニ ッ シ ャ 運 転</td> <td>ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 準)</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_r×層数/T 表5.4 機械賃料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 計</td> <td>舗装幅2.3~6.0m</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. T' = [(TH+TB2) 又は TB1] + TD×層数 + TF×層数 × 0.66 (h/100㎡) 0.66:一連作業のための重複度 T:運転日当り運転時間(h/日)(表5.6) 2. 路盤材料のロス率は、+0.27とする。 3. ロス率は、「第IV編第3章①-2切削オーバーレイ工」(アスファルト混合物のロス率)による。</p> <p style="text-align: center;">IV-3-④-7</p>	名 称	規 格	単位	数量	備 考	施 工 歩 掛 コー ド					011000	011002	011003	011004	011005	土木一般世話役		人		1×1/8×T' 表4.1.(注)1	○	○	○	○	○	特殊作業員		人		3×1/8×T' 表4.1.(注)1	○	○	○	○	○	普通作業員		人		4×1/8×T' 表4.1.(注)1	○	○	○	○	○	クラッシュラン		㎡	A	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A.(注)2				○		粒度調整砕石		㎡	B	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B.(注)2						アスファルト混合物		t	C	100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C.(注)3					○	大型ブレーカ運転	油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _n /T 表5.1.(注)4 機械賃料			○			(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	日		T _n /T 表5.1.(注)4 機械賃料			○			バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(小規模)]	開口幅700mm 破砕力6000N	日		T _n /T 表5.1.(注)4 機械損料			○			バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	日		(T _n 又はT ₀)/T 表5.2 機械賃料			○	○		小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.09~0.11㎡(平積0.07 ~0.08㎡)	日		T _n ×層数/T 表5.3 機械損料			○	○		タイヤローラ運 転	普通型・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準準) 運 転 質量8~20 t	日		(T _n ×層数+T _r ×層数)/T 表5.3. 表5.4 機械賃料			○	○	○	振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・コンバインド式・低騒 音型・ 排出ガス対策型(第2次基準 準) 運 転質量3~4t	日		(T _n ×層数+T _r ×層数)/T 表5.3. 表5.4 機械賃料			○	○	○	ア ス フ ァ ル ト フ イ ニ ッ シ ャ 運 転	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _r ×層数/T 表5.4 機械賃料					○	諸 雑 費 計	舗装幅2.3~6.0m	式	1	表5.5	○	○	○	○	○	改 正	<p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	記載の変更
名 称	規 格						単位	数量	備 考	施 工 歩 掛 コー ド																																																																																																																																																															
		011000	011002	011003	011004	011005																																																																																																																																																																			
土木一般世話役		人		1×1/8×T' 表4.1.(注)1	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
特殊作業員		人		3×1/8×T' 表4.1.(注)1	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
普通作業員		人		4×1/8×T' 表4.1.(注)1	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
クラッシュラン		㎡	A	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=A.(注)2				○																																																																																																																																																																	
粒度調整砕石		㎡	B	100㎡×仕上り厚 ×(1+ロス率)=B.(注)2																																																																																																																																																																					
アスファルト混合物		t	C	100㎡×仕上り厚×設計密度(t/㎡) ×(1+ロス率)=C.(注)3					○																																																																																																																																																																
大型ブレーカ運転	油圧ブレーカ バケット容量0.2㎡対応 ベースマシン含む・超低騒音 型・排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _n /T 表5.1.(注)4 機械賃料			○																																																																																																																																																																		
(コンクリート圧砕 装置ベースマシン) バックホウ(クローラ 型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	日		T _n /T 表5.1.(注)4 機械賃料			○																																																																																																																																																																		
バックホウ用アタッ チメント[コンクリー ト圧砕装置(小規模)]	開口幅700mm 破砕力6000N	日		T _n /T 表5.1.(注)4 機械損料			○																																																																																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.45㎡(平積0.35㎡)	日		(T _n 又はT ₀)/T 表5.2 機械賃料			○	○																																																																																																																																																																	
小 型 バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)運 転	標準型・超低騒音型・排出ガ ス対策型(第3次基準準) 山積0.09~0.11㎡(平積0.07 ~0.08㎡)	日		T _n ×層数/T 表5.3 機械損料			○	○																																																																																																																																																																	
タイヤローラ運 転	普通型・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準準) 運 転 質量8~20 t	日		(T _n ×層数+T _r ×層数)/T 表5.3. 表5.4 機械賃料			○	○	○																																																																																																																																																																
振 動 ロ ー ラ (舗 装 用) 運 転	搭乗・コンバインド式・低騒 音型・ 排出ガス対策型(第2次基準 準) 運 転質量3~4t	日		(T _n ×層数+T _r ×層数)/T 表5.3. 表5.4 機械賃料			○	○	○																																																																																																																																																																
ア ス フ ァ ル ト フ イ ニ ッ シ ャ 運 転	ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型(第3次基準 準)	日		T _r ×層数/T 表5.4 機械賃料					○																																																																																																																																																																
諸 雑 費 計	舗装幅2.3~6.0m	式	1	表5.5	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁)																																																																																																																																																																						
			5/10																																																																																																																																																																						

改正理由	一部改正	改 正 現 行	備 考																																																				
	現 行	改 正																																																					
	<p>7. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 直接掘削積込</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB430610</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">打換え区分</td> <td style="text-align: center;">掘削深さ</td> <td style="text-align: center;">すりつけ作業の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(表7.1)</td> <td style="text-align: center;">(表7.2)</td> <td style="text-align: center;">① 有 ② 無</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本コードは、舗装版厚さが15cm 以下の場合に適用する。ただし、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、舗装版の厚さにかかわらず適用できる。 2. J 3 条件は、各作業の段階ごとに判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要となるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。 3. C o 現, A s 塊の運搬は「第II編第2章◎級運搬(CB227010)」による。 4. 路盤・路床材の運搬は、別途考慮する。 5. 表5.5 による諸雑費を含む。</p> <p>(2) とりこわし掘削積込</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB430620</td> <td>施工単位</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="5">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">各 種</td> <td style="text-align: center;">J 1</td> <td style="text-align: center;">J 2</td> <td style="text-align: center;">J 3</td> <td style="text-align: center;">J 4</td> <td style="text-align: center;">J 5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">打換え区分</td> <td style="text-align: center;">騒音・振動対策の有無</td> <td style="text-align: center;">舗装版厚さ</td> <td style="text-align: center;">掘削深さ</td> <td style="text-align: center;">すりつけ作業の有無</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(表7.1)</td> <td style="text-align: center;">① 有 ② 無</td> <td style="text-align: center;">(表7.3)</td> <td style="text-align: center;">(表7.2)</td> <td style="text-align: center;">① 有 ② 無</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3 条件には②又は③を入力すること。 2. J 5 条件は、各作業の段階ごとに判断するのではなく、とりこわしから舗装の敷均し・転圧までの一連の急速施工において、すりつけ作業が必要となるのか判断し、一連の作業は全て同じ条件を入力すること。 3. C o 現, A s 塊の運搬は「第II編第2章◎級運搬(CB227010)」による。 4. 路盤・路床材の運搬は、別途考慮する。 5. 表5.5 による諸雑費を含む。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 打換え区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>規 格</td> <td>入力番号</td> </tr> <tr> <td>全 層 打 換 え</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>舗装版のみの打換え</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB430610	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	打換え区分	掘削深さ	すりつけ作業の有無		(表7.1)	(表7.2)	① 有 ② 無	施工歩掛コード	WB430620	施工単位	m ²	施工区分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	打換え区分	騒音・振動対策の有無	舗装版厚さ	掘削深さ	すりつけ作業の有無		(表7.1)	① 有 ② 無	(表7.3)	(表7.2)	① 有 ② 無	規 格	入力番号	全 層 打 換 え	①	舗装版のみの打換え	②	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>→</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>→</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">記載の変更</p> <p style="text-align: center;">記載の変更</p>
施工歩掛コード	WB430610	施工単位	m ²																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																						
各 種	J 1	J 2	J 3																																																				
	打換え区分	掘削深さ	すりつけ作業の有無																																																				
	(表7.1)	(表7.2)	① 有 ② 無																																																				
施工歩掛コード	WB430620	施工単位	m ²																																																				
施工区分	入 力 条 件																																																						
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																		
	打換え区分	騒音・振動対策の有無	舗装版厚さ	掘削深さ	すりつけ作業の有無																																																		
	(表7.1)	① 有 ② 無	(表7.3)	(表7.2)	① 有 ② 無																																																		
規 格	入力番号																																																						
全 層 打 換 え	①																																																						
舗装版のみの打換え	②																																																						
積算上の注意事項	IV-3-④-9		(控え頁) 7/10																																																				